

NSGサステナビリティレポート 2015

ガラス技術で世界に変革を



# NSGサステナビリティレポート 2015 について

当社グループは長年培った技術とノウハウを基盤に、ガラスメーカーとして革新性および先進性を追求しています。グローバル組織を通じ、現在のお客様ニーズに応える製品の開発および製造に取り組むと同時に、不断の研究開発と技術革新を通じて、新たな市場の創造に挑戦し続けます。

NSGグループは、サステナビリティの実現に向けて積極的に取り組んでいます。安全かつ企業倫理に沿って事業活動を行いながら、高品質ガラス製品の生産を通じて、生活水準の向上、人々の安全と健康、省エネ・創エネに貢献することをミッションとして掲げています。

ガラス製造はエネルギー多消費型産業ですが、一方で、ガラス製品自体は、そのライフサイクルを通じて省エネで世の中に大きく貢献しています。

NSGグループでは、昨年、サステナビリティの原則をさらに浸透させ、定着させてまいりました。

NSGグループは「国連グローバル・コンパクト」に参加しました。国連グローバル・コンパクトが提唱する人権・労働基準・環境・腐敗防止に関する10原則は、社会と環境に対する企業としての責任を定めた当社グループの「行動規範」の理念と共通するものです。

これまで実施してきた収益性改善施策および生産性改善施策の効果が、CO<sub>2</sub>排出量と資源消費量の低減に反映され始めています。

NSGグループのサステナビリティ目標に対する進捗状況は、本レポートおよび当社ウェブサイトに掲載しています。

サステナビリティ関連の実績に関するさらに詳細な情報や図表は、NSGグループのウェブサイトの「サステナビリティ」セクションをご覧ください (<http://www.nsg.co.jp/ja-jp/sustainability/>)。



This is our **Communication on Progress** in implementing the principles of the **United Nations Global Compact** and supporting broader UN goals.

We welcome feedback on its contents.

## 表紙の写真

ノルウェーのSALTフェスティバルで活躍するサウナ兼イベントホール「アゴラ」には、Pilkington **Insulight**® ProtectとPilkington **Optilam**® Therm S3が使われています。 撮影:Trond Kristiansen

# 目次



## NSGグループについて

社長メッセージ	02
グローバルな事業展開	04
サステナビリティ目標	05



## マネジメント

サステナビリティへのアプローチ	06
コーポレートガバナンス	10



## NSGグループの事業

事業概観	12
建築用ガラス	14
自動車用ガラス	16
高機能ガラス	18



## 環境

環境方針とマネジメント	20
エネルギー使用	22
環境負荷低減の推進	24



## NSGグループのステークホルダー

従業員	28
安全・衛生	30
顧客	32
サプライヤー	34
地域社会	36
株主・投資家	38



## 報告にあたって

その他の情報	40
報告アプローチ	41

# 社長メッセージ



NSGグループのVA戦略は、私たちの製品とサービスを通じた社会と環境への貢献を重視します。」

当社グループは、ガラス技術で世界に変革をもたらすというビジョンと、グループの持続可能な発展に向けた積極的な行動により、世界の限りある資源を有効に活用するという課題に挑戦し続けています。

ガラスの製造工程では大量のエネルギーを消費しますが、ガラス製品を活用することにより気候変動の社会的影響を軽減することは可能です。当社グループは事業活動を通じ、社会と環境の両面に対し大きな貢献が出来るように努めています。

あらゆるステークホルダーの要求をバランス良く満たしながら、私たちのサステナビリティ目標の達成を目指しています。

新しいサステナビリティ目標は、当社グループ長期戦略における優先事項とこれまでの活動の達成状況を熟慮して制定しました。事業活動の環境負荷を管理することで、地域社会と調和しつつ、エネルギー効率向上と資源管理の改善に取り組んでいきます。今年は設備稼働率改善と更なる省エネ対策により、温室効果ガスを前年比で1%削減しました。

従業員を含む全てのステークホルダーの健康と安全は、当社グループが事業に携わる上での基本条件です。私たちがこの原則を忠実に守りつづけていることは、毎年開催している「NSGグループ安全の日」に見ることが出来ます。私たちは「国連グローバル・コンパクト」の一員としてその全ての理念の普及を支持します。同コンパクトの延長線上にある当社グループ「倫理規定」について、日常業務における具体的な行動指針を今年追加しました。

良好なコーポレートガバナンスは当社グループの持続可能な発展の基礎です。この基礎を固めると共に東京証券取引所のコーポレートガバナンス原則への賛同を示すため、「NSGグループコーポレートガバナンス・ガイドライン」を導入しました。

私たちは安全かつ倫理的な事業活動を通じ、これからも当社グループ内でのサステナビリティ原則の徹底に努め、環境との調和に貢献していきます。

森 重樹

代表執行役社長兼CEO

森重樹

当社グループは、建築用ガラス、自動車用ガラス、高機能ガラスの各事業部門において、気候変動の影響軽減や安全性の向上に役立つ様々な高付加価値(VA)製品を提供しています。

#### VA戦略

当社グループの戦略的ビジョンは、高付加価値ガラス企業「VAガラスカンパニー」に変容・変革することです。「VA」とは「value-added(高付加価値)」に由来します。顧客企業と共に革新的な製品を開発しつつ、VA製品・サービスの比率を高めていきます。密接な相互協力のもと、各顧客企業のサステナビリティ目標の達成に貢献し製品ライフサイクルを通じて環境負荷を軽減する製品およびサービスを提供してまいります。

当社グループの取り組みは、省エネ、そして社会と環境のサステナビリティに対する顕著で持続的な貢献につながっています。人事、資源、地域社会、環境を適切に管理することは、事業の発展にもつながるのです。

建築用ガラス事業

自動車用ガラス事業

高機能ガラス事業

高付加価値製品およびサービス

太陽光発電用ガラス  
真空ガラス  
ソーラーコントロールガラス  
防火ガラス

ソーラーコントロール技術  
ヘッドアップディスプレイ(HUD)  
軽量ガラス  
補修用ガラス

バッテリーセパレータ技術  
エンジン用タイミングベルト  
耐食塗料コーティング  
LEDプリントヘッド



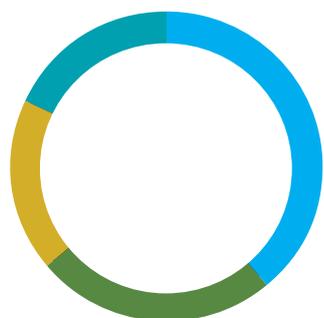
社会と環境に貢献

# グローバルな 事業展開

NSGグループは、ガラスおよびグレーディングシステムの世界最大のメーカーの一つで、建築用ガラス、自動車用ガラスおよび高機能ガラスの3つの事業分野で事業を展開しています。グループ従業員数は約27,000人。世界28カ国に主要な製造拠点をもち、130カ国以上で製品の販売を行っています。

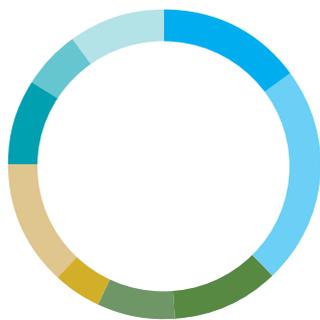
## 売上高(連結ベース)

2015年3月31日現在  
地域別

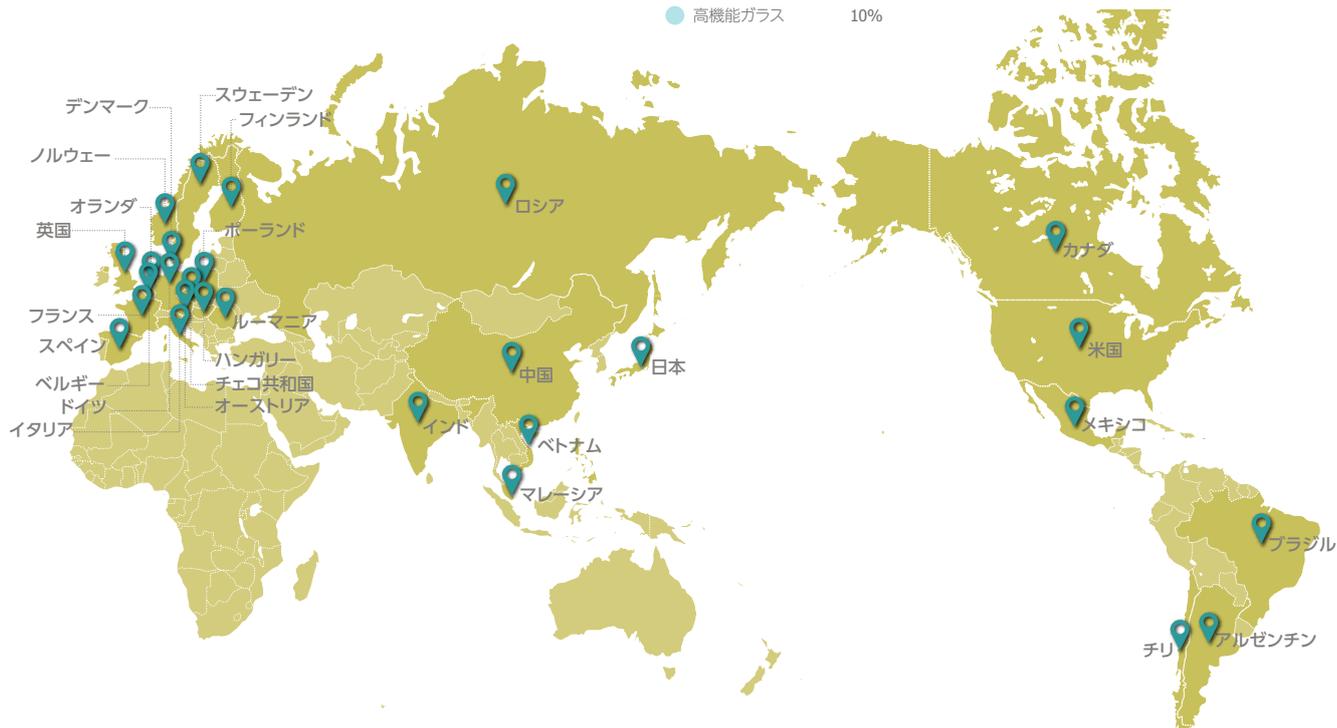


● 欧州 39% ● 北米 18%  
● 日本 25% ● その他 18%

## 事業別



● 建築用ガラス- 欧州 15% ● 建築用ガラス- 北米 5%  
● 建築用ガラス- 日本 11% ● 建築用ガラス- その他 9%  
● 自動車用ガラス- 欧州 23% ● 自動車用ガラス- 北米 13%  
● 自動車用ガラス- 日本 8% ● 自動車用ガラス- その他 6%  
● 高機能ガラス 10%



# サステナビリティ 目標

目標	2015年の成果	2018年度に向けた新目標
安全	2015年度末までに重大災害度数率は75%改善され0.35となり、基準である2007年の1.38から0.30まで80%改善するとの目標を達成。(重大災害件数が基準値である2007年の月間50件から10件まで減少。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 重大災害度数率を年10%ずつ改善</li> <li>● 死亡事故ゼロ</li> </ul>
廃棄物	埋め立て廃棄物を2015年までに2007年比で半減する目標を2013年に達成。2014年の埋め立て廃棄物は26,000トンで、新2013年基準から13%削減。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 埋め立て廃棄物を6,000トン(2013年基準で20%)削減。</li> </ul>
エネルギー・CO <sub>2</sub> 削減	CO <sub>2</sub> ガス排出絶対量を(2010年の480万トンから2014年には410万トンへ)13%削減したものの、市場環境の影響により8つの主要製品に関するエネルギー使用量は削減できなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全ガラス生産工程を通じてCO<sub>2</sub>濃度を毎年1%ずつ削減。2018年度までにNSGグループの事業活動によるCO<sub>2</sub>排出量の少なくとも70%を削減対象とする。</li> </ul>
持続可能なVA製品	2015年度営業利益率2桁台の経済目標を達成できなかった。2015年3月時点での営業利益率(ピルキントン社買収に伴う無形資産償却前)は4%。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 総売上に占めるVA製品の比率を約1/3から2019年度には1/2まで高める</li> <li>● 各製品の環境的・社会的付加価値を実証</li> </ul>
調達・輸送責任	全サプライヤーに「NSGグループ サプライヤー行動規範」を周知、280以上のサプライヤーを監査	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新規サプライヤーに対する行動規範周知の継続、既存サプライヤーとの間の現行の取り決めを維持</li> <li>● サステナビリティ評価対象サプライヤーを毎年20%ずつ拡大</li> <li>● 環境負荷リスクの高い物質を扱うサプライヤーを継続的にモニタリング</li> <li>● サプライチェーンパートナーと協力して物流システムを刷新、当社グループ製品の環境負荷を改善</li> </ul>
従業員	当初の目標は達成。2015年は現場フルタイム従業員の91%が毎年一回のトレーニング・育成レビューを受けた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 引き続き従業員のエンゲージメント調査を継続。2014年に実施した従業員意識調査結果へのアクション計画をすべての組織で立案し、2016年度末までに90%完了を目指す</li> <li>● 今後もパフォーマンス管理の諸施策を継続し、人事考課のプロセスが適正基準の下運営されるよう留意する。2016年度末までにすべての考課者が部下の育成議論を改善するためのトレーニングに参加する。</li> <li>● 2018年度末までに従業員の75%を対象に個人または組織単位での人材開発計画を策定</li> <li>● コマーシャルマネージャー全員がコマーシャルリーダーシッププログラムに参加</li> </ul>
倫理・コンプライアンス	2015年目標は無し	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 倫理規定の改定、解説・研修実施率100%を維持</li> <li>● 新倫理・コンプライアンスホットラインの周知とあらゆる懸念事項の報告徹底を継続</li> <li>● 有効な倫理・コンプライアンス指標を確立、追跡、報告</li> <li>● ガバナンス・リーダーシップ文化評価(GLCA)の再開</li> </ul>

# サステナビリティへのアプローチ



「気候変動のリスクは、NSGグループが環境面で貢献できるチャンスです。」

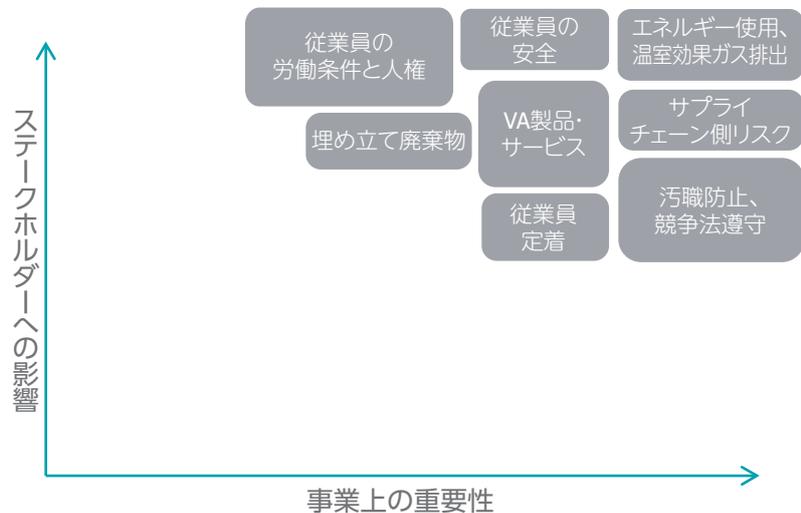
ガラスは、温室効果ガスの排出削減や気候変動の影響の緩和に向けた社会の取り組みに大きく貢献しています。NSGグループは、革新的な高性能ガラス製品の分野でグローバルリーダーとなり、省エネ・創エネに貢献し、安全かつ企業倫理に即した事業活動を行うことを目指します。

当社の生産性改善施策により、引き続きエネルギー消費量の低減、温室効果ガス排出および廃棄物の削減が推し進められています。従業員に対しては、教育・育成を継続的に実施し、人権を尊重した安全な職場環境を提供しています。当社グループは、現行のキーサプライヤーに対するサステナビリティ活動の評価を通じて、請負業者やサプライチェーンに対してもサステナビリティの実現に向け、賛同を働きかけてまいります。

NSGグループにとって、サステナビリティの実現に向けた取り組みはコスト削減と事業機会の拡大に必要な不可欠な要素です。2015年に当社グループは、業績に対する効果が大きくかつ即効性のある、エネルギー節減や廃棄物削減などに向けた取り組みを継続してきました。お客様の要求はかつてないほど高まっており、世界各地のガラス市場で競争が激化する中、そのニーズに対応できることは重要な意味を持ちます。

サステナビリティ統括部長  
小林史朗

## 重要性評価の結果



## マテリアリティ(重要性)

このレポートでは、ステークホルダーが当社グループに何を望み、何を懸念しているのか、企業評価を大幅に左右する情報を、マテリアル(重要)な情報と位置付けています。当社グループでは、サステナビリティ委員会で、企業活動が経済・環境・社会に与える著しい影響や、年間を通じてステークホルダーから寄せられた意見を基にして、マテリアリティシユ(重要課題)を決定し、サステナビリティ目標に織り込みました。目標に対して、1年間がどうであったかをサステナビリティレポートの中で公開していきます。

ステークホルダーにとって最重要事項である財務課題については、このレポートとは別に年次報告書でお知らせします。財務の健全性は依然として当社グループの根本課題であり、戦略的にも日常業務でもコスト削減が不可欠です。

中期経営計画(MTP)達成には顧客とのコミュニケーションを通して需要と関心事をよりよく把握することが欠かせません。そのために、私たちは営業リーダー育成プログラムを開発し、営業マネージャーのマーケティング・戦略スキルの強化に努めています。

この他にも各種のリーダー育成・能力開発プログラムを通じて人材喪失リスクの最小化を図っています。従業員意識調査へのフィードバックは教育・能力開発計画の改善に生かされ、健康で活力ある職場環境につながっています。

「事業は人なり」は当社グループの根幹を成す経営理念です。安全リスクの最小化はあらゆるステークホルダーにとって重要です。私たちは管理プログラムにより職場の安全を守ります。

当社グループの発展は社会的評価と不可分です。私たちはコーポレートガバナンスと倫理的事業活動の双方で優れた実績を示し、ステークホルダーや顧客から寄せられるより多くの疑問に真摯に答えていきます。新たに策定したコーポレートガバナンスガイドラインに従い長期戦略ビジョンに沿ってMTPを進めます。同ガイドラインに合わせ、コンプライアンスと懸念事項報告に関するグループポリシーも改定しました。新「グループ倫理規定」には、正しいやり方で事業に従事し不祥事・評判リスクを最小化する決意を反映しました。

事業に必要なエネルギー使用と付随的なCO<sub>2</sub>排出はコスト、安全、規制リスクであるばかりでなく大きな環境負荷となります。作業効率は従来から事業上の主要課題でしたが、今や政府、投資家、顧客からも重視されています。当社グループは、需要低下に合わせた生産力調整は作業・生産効率向上のチャンスと考えます。

規制当局と顧客からの要求は、持続可能で革新的な製品デザインを生かした高付付加価値製品へシフトするチャンスとなります。

当社グループは顧客と共に、サプライチェーンのリスクと影響、特に原材料のサステナビリティとサプライヤーの環境面、人権面での実績を重視します。こうした点に関する懸念を払拭するため、私たちは主要サプライヤーのサステナビリティ行動を評価しています。

## マネジメントアプローチ

当社グループはそれぞれの地域社会や政府機関と協力し、法令を遵守し、将来を見据えて事業に取り組んでいます。これについては、一企業として直接対応するとともに、加盟する各種業界団体、標準化団体などの組織を通して間接的にも対応しています。また、省エネ・排出量規制の分野を中心に法規制の整備を促す活動に取り組んでいます。

ガラス製造はエネルギー多消費型産業です。ガラスの原材料の調達および溶解には大量のエネルギーが消費されます。製造工程ではこうしたエネルギー資源の消費がどうしても必要となりますが、このエネルギーは当社製品の利用が増えればすぐに節約が可能です。当社のガラス製品は、気候変動への取り組みと生活環境や職場環境の質の改善に大きく貢献します。

サプライヤー各社には「サプライヤー行動規範」を案内し、提出された宣誓書を検証するための審査を実施しております。

# 70%

現在世界中で81拠点がISO14001認証を取得しており、これは売上ベースで事業全体の70%に相当します。

### ステークホルダー

我々はステークホルダーから最上位の会社と評価されるように努めます。

### 顧客からは

ガラスおよびガラス関連サービスで最も取引したいサプライヤーとして

### 従業員からは

最も働きがいのある職場として

### 株主からは

最も優良な長期投資先として

### サプライヤーからは

信頼・協力・革新・サステナビリティに基づき、強固かつ相互に有益な関係を構築できる顧客として

### 地域社会からは

事業を行う全ての地域において良き隣人として

# サステナビリティへの アプローチ (続き)



当社製品の主原材料である鉱物資源も製造に必要なエネルギーも、地球から採取しなければならぬものです。そのため、当社グループには、こうした資源採取の影響を受ける地域の自然環境の保全に真剣に取り組む責任があります。

NSGグループは改めて「倫理規範」を策定し、NSGグループの「経営理念と行動指針」に基づき、特に、従業員の安全で主体的な行動、オープンで積極的なコミュニケーションを重視しています。倫理規範の根幹を成す原則は、そうした活動をNSGグループが安全かつプロフェッショナルに、法に則って倫理的に行うこと、企業の社会的責任およびサステナビリティを、身をもって示すことです。この倫理規範では、公正で良識ある事業への取り組み方とは何かを明確に定義しています。また項目によっては法規制による厳格な要求に基づいて定められているものもあります。

私たちはポリシーおよびプロセスで、健全な統治、厳密な管理、リスクマネジメント、法的・倫理的・持続可能な原則の遵守の実現に向けて、当社グループの全ての従業員

が遵守すべき方針や手順の詳細を規定しています。

## 環境

NSGグループは環境に対する責任を真摯にとらえています。あらゆる事業を行う上で、法的基準を遵守することは企業として最低限守るべき義務です。環境監査を定期的実施し、継続的な改善を通して、水準の維持・向上に努めています。

「NSGグループ環境ポリシー」は、現在の事業活動はもちろん過去の事業活動や買収先など他社から引き継いだ責任を含めた環境管理について定めています。NSGグループはこのポリシーに則り、当社の事業がもたらす、環境に対する影響を、確かな科学的根拠に基づき予測・評価します。

ガラス製造業が地域環境および地球環境に影響を与えることを認識した上で、環境へのマイナスの影響をコントロールするシステムを整備し、負荷を最小限に抑えるための対策を講じています。NSGグループの環境マネジメントシステムは、その要となるものです。

自動車用ガラス製品の製造拠点及び大多数のガラス製造拠点が環境マネジメントシステムの国際的な規格であるISO14001の認証を取得しています。

私たちは、環境実績の良し悪しに関係なく必ず報告を行います。環境関連のデータはエネルギー、大気中への排出量、水使用量、リサイクル、廃棄物などの項目ごとに集められます。これらの項目は、GRI(グローバル・レポート・イニシアティブ)ガイドラインの環境パフォーマンスの中核指標を参考にしています。環境データは、オンライン報告システム「Airsweb™」によって収集されます。「Airsweb™」は、同時に災害報告システムとしての機能も兼ね備えています。環境に関する当社グループの最高責任者は、サステナビリティ統括部長です。

## 社会

NSGグループは、事業を展開するそれぞれの地域社会において、環境を管理し、社会を構成する重要な一員として果たすべき責任を負っていると考えています。私たちは、汚染、騒音、交通渋滞などの起こり得る弊害を最小

限に抑えるべく努めています。また、事業参入や操業、撤退などを含め私たちの事業活動が地域社会に与える影響を評価・管理するプログラムを運用しています。NSGグループは、地域における事業活動を継続するための事業投資に加えて、地域社会への投資も行っています。

慈善活動などへの寄付金や物資の提供等を通じて、地域社会への貢献や社会問題の解決に取り組んでいます。

NSGグループの従業員は、地域社会と積極的に関わっていくことが奨励されています。例えば、従業員による募金に会社が同額を拠出する方法での募金活動の奨励や従業員が地域のプロジェクトにボランティアとして参加する際のサポートを行っています。地域社会・社会問題に関する当社グループの最高責任者は、サステナビリティ統括部長です。

### 人権

NSGグループの倫理規範では、国際的に宣言された人権を尊重することを明確にしています。当社グループはこの人権尊重の考え方に沿った雇用方針・雇用慣行をグループ全体で適用することにより、従業員の公正な取り扱いを保証しています。

NSGグループの雇用機会均等ポリシーはダイバーシティ(多様性)を尊重し、人種、皮膚の色、信条、宗教、年齢、性別、性的指向、国籍、障害の有無、労働組合への加入、政治的所属、その他のあらゆる法で保護された地位を理由とする差別の禁止を目的としています。このポリシーは雇用関連の決定を行う際に必ず適用されます。人権に関する当社グループの最高責任者は、最高人事責任者(CHRO)です。

### 労働慣行

NSGグループの経営理念の根幹は、「事業は人なり」です。NSGグループの人事戦略は、適材適所に人材を配置し、個人の能力が最大限に発揮できるようにグローバルな人材管理・人材育成を行なうことを目指します。

全ての事業活動において安全と品質を第一に考え、雇用方針の柱として「オープンなコミュニケーション」を推進しています。

NSGグループは、多国籍かつ一体的な企業グループです。経営陣の国籍は多彩で、従業員のうち80%は日本国外で働いています。グループではダイバーシティに対応した従業員採用を行っています。多種多様な国籍、

スキル、資格、経験などが私たちの事業に与えるメリットは非常に大きいと考えています。国籍、出身地域を問わず、適材適所に人材配置を行っています。優秀な従業員の雇用、モチベーション、育成、定着を目的とした報酬・雇用方針を採用し、常勤・非常勤を問わず、能力の高い従業員には市場競争力のある報酬・手当を提供しています。

とりわけ、新興市場において優秀な人材を採用・長期雇用する上での課題を特定し、解決に向けた方針を策定しました。当社グループは、全従業員が、脅迫、報復行為、ハラスメントを受ける心配をすることなく安心して働ける企業文化の醸成に努めています。従業員が懸念事項についての報告・相談を、機密性が確保された状態で適時に行うことができる制度を設置しています。労働慣行に関する当社グループの最高責任者は、最高人事責任者(CHRO)です。

NSGグループは従業員全員の健康と安全を最優先し、従業員の能力を最大限に発揮できる職場環境を提供することを目指しています。NSGグループの安全プログラムでは、一人ひとりが安全への自覚と責任意識を持つこと、安全行動を遵守することを重視しています。

全ての労働災害は、未然に防ぐことができると考えます。どんなに些細な災害も報告・調査することが求められます。安全に関する実績についての詳細は、本レポートの「安全・衛生」のセク

### 製品責任

当社は、顧客に当社製品を簡単に取扱い、施工・使用していただけるよう、製品の使用時の安全確保についても万全を期しています。当社グループは製品リスク評価プロセスを定め、リスクを特定し、顧客に使用上の注意事項をお知らせしています。安全データシート、製品やラベル上での注意喚起のほか、安全上の注意事項をまとめた「ガラスの取扱いと施工に関するガイドライン」を通して、製品リスクに関する情報提供を行っています。

新製品と新工程の開発に関する全ての研究開発プロジェクトに対して、プロジェクトの早期段階で環境影響アセスメントの実施を義務づけ、プロジェクトが環境に与えるプラスの影響と生じる可能性のあるマイナスの影響を明らかにしています。当社グループは、当社製品のライフサイクルの全ての段階において環境衛生と環境保護に配慮する持続可能な循環型社会への貢献を目指しています。

当社グループは正式なプロジェクト管理プロセスにおいて、徹底した知的財産調査を実施しています。それにより、顧客は、第3者の特許権侵害の心配なしに当社が開発した製品やプロセスを使用できます。製品責任に関する当社グループの最高責任者は各事業部門の部門長です。



EcoVadisは独立した外部プラットフォームを運営し、各企業によるグローバルな環境的・社会的パフォーマンスの自己評価やベンチマーク比較をサポートしています。

そのプロセスにおいて、環境、労働慣行および人権、公正な商慣行ならびに持続可能な調達問題に関する企業のポリシー内容、実施されたプロシージャ、および刊行された報告書を評価します。この評価は、150の産業分類と21のCSR基準を網羅するスコアカードを使って、国、業種、および規模の違いに合わせて柔軟に調整されたアンケート調査に基づき、EcoVadisのCSR専門家によって実施されます。格付けは、裏づけ資料、公的情報、ステークホルダー(NGO、労働組合、マスコミ)情報に基づいて決められます。

NSGグループは、EcoVadisによる評価に基づいてグループのCSRパフォーマンスの全体像を把握し、改善すべき分野を明らかにしました。NSGグループのCSRマネジメントに対する取り組みは、EcoVadisによる評価でシルバーを獲得しました。

# コーポレート ガバナンス

コーポレートガバナンスの充実は、NSGグループのサステナビリティ活動の重要な要素です。NSGグループは、全てのステークホルダーとの有効かつ透明な関係の構築に努めています。

良好なコーポレートガバナンスは、企業の業績向上の基礎であり、外部からの資金調達を容易にし、企業の持続可能な発展に資するものと確信しています。責任ある経営姿勢を明確にうたった事業目標や指針を全てのステークホルダーに開示し、高い透明性を持って、十分な説明責任を果たしてまいります。

## 「NSGグループ コーポレート ガバナンス・ガイドライン」

当社グループは、東京証券取引所定める「コーポレートガバナンス・コード」(2015年6月1日から適用)の諸原則の考え方を支持し、2015年5月に新しい「NSGグループ コーポレートガバナンス・ガイドライン」を発表しました。本ガイドラインは、当社グループが、持続可能な方法でその企業価値を中長期的に高め、ひいては株主を初めとする各ステークホルダーの共同価値を高めていくための企業統治(コーポレートガバナンス)システムに関する基本的な考え方と枠組みを定めたものです。

本ガイドラインで示す取締役会や指名、監査および報酬の三委員会、独立社外取締役ならびに執行役のそれぞれの役割や構成といったコーポレートガバナンス体制の下、当社グループは、倫理に則り、効果的かつ効率的に迅速果敢な意思決定を行うことでステークホルダーとの良好な関係を守りその要求に応えるため、適切なチェックアンドバランスとアカウンタビリティを十分に機能させることを目指します。

更にコーポレートガバナンスの取り組みの一環として、ガイドラインに合わせ、「株主の皆様との建設的な対話に関する方針」、「取締役候補者の選任基準」、「経営陣幹部の選任方針および手続」を公表しました。ガイドラインと関連方針は以下の当社サイトでご確認ください。

<http://www.nsg.co.jp/ja-jp/sustainability/corporategovernance/governancestructure>

これらの取り組みは、過去数年に渡る当社グループのコーポレートガバナンス強化活動の成果を反映し、高度なコーポレートガバナンス実現に近づいていることを示しています。

## 三委員会体制

当社グループは指名委員会等設置会社制度を採用し、取締役会や指名、監査および報酬の三委員会と執行役を置いています。

本制度の採用により、社外取締役の機能を強化し、執行と監督の機能を分離したことで、株主保護の一層の充実、企業活動の一層の透明性、ガバナンスの強化を実現して来ました。

NSGグループは、株主総会の決議によって選任された取締役をその構成員とする取締役会によって運営されます。取締役会は、4名の執行役、および4名の独立社外取締役から構成されます。現在の取締役会議長は独立社外取締役である朝香聖一氏です。2015年3月期には、取締役会は計12回開催されました。取締役会は、NSGグループの経済・社会・環境面での業績、ならびに社内基準、国際的に合意された基準、倫理規範および原則の遵守状況について監督を行います。

当社は、指名委員会、監査委員会及び報酬委員会の3つの委員会を設置しています。独立社外取締役の人数は4名です。

指名委員会は、株主総会に提出する、取締役の選任および解任に関する議案の内容を決定します。同委員会は、4名の独立社外取締役を含む取締役6名で構成され、独立社外取締役である小宮弘氏が委員長を務めます。

監査委員会は、4名の独立社外取締役で構成され、独立社外取締役である山崎敏邦氏が委員長を務めます。取締役および執行役による業務執行状況を監査し、適切なリスク管理プロセスの整備・運用の徹底を図ります。さらに、株主総会に提出する会計監査人の選任および解任に関する議案の内容を決定します。

報酬委員会は、それぞれの取締役および執行役の個別の報酬内容を決定します。同委員会は4名の独立社外取締役を含む取締役6名で構成され、独立社外取締役であるギンター・ツォーン氏が委員長を務めます。

なお、当社グループのコーポレートガバナ

ンスに関する最新の情報については、以下の当社サイトをご覧ください。

<http://www.nsg.co.jp/ja-jp/sustainability/corporategovernance/governancestructure>

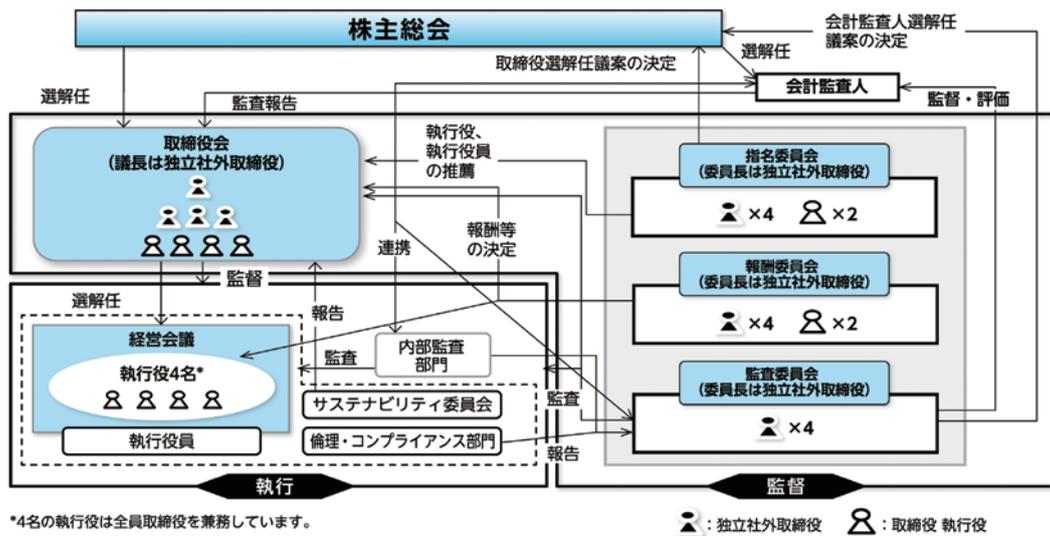
## リスクマネジメント

グローバルに事業を展開するNSGグループの事業活動は、多種多様な潜在的リスクをはらんでいます。そのため有効なリスク管理が不可欠です。リスクには、債券相場の変動、外国為替相場の変動、信用リスク、エネルギー価格の変動、流動性・金利リスク、事業中断リスクなどが含まれます。重要リスクを抽出し、それぞれのリスクの発生可能性とリスクが顕在化した際の影響度について、標準フォーマットを用いて評価を行っています。この情報を活用して、グループ全体のリスクを把握し、有効なグローバルリスク対策を進め、リスクマネジメント体制の強化を図っています。

## 倫理とコンプライアンス

NSGグループの「倫理規範」は、改定とリブランドを通じて、より当社グループの実情に即した内容に生まれ変わりました。真摯な行動で仕事に取り組むことを約束した倫理規範はグループ内で用いられている全19言語に翻訳されています。各地域では厳選された倫理チャンピオンが準備ワークショップに参加した後、倫理規範に関する現地での重要連絡や推進活動に携わる他、現場マネージャーが倫理規範をよく理解し様々な倫理面の話題についての議論をリードできるようサポートしています。各現場マネージャーは新倫理規定の理解を深め従業員と一緒に問題や倫理的行動について考えていく責任を負っています。

アラン・グラハムがグループのチーフ倫理・コンプライアンスオフィサーとして、その責任において、当社グループにおける総合的な倫理・コンプライアンスマネジメントシステムの策定、実施および維持管理を行い、この



分野におけるポリシーとプロシーチャーの作成および見直しを行います。グループの倫理・コンプライアンス部門は、定期的に監査委員会および経営会議に報告します。

NSGグループは2014年に腐敗認識指数50以上だった国の36%と取引があり、20%に営業代理店を置いています。NSGグループでは、贈収賄、汚職、および競争法違反に関連するリスクに直面する従業員を特定するために継続的にリスクベースの評価を行っています。当社グループの全従業員（工場の現場作業従事者を除く）のうち65%以上に、NSGグループ倫理コンプライアンス教育センター（イントラネット上のオンライン研修サイト）で年1回の贈収賄・汚職防止（Anti-Bribery Anti-Corruption = ABAC）、競争法遵守および倫理違反通報に関する（外部ベンダーによる）研修を受けるよう義務付けています。受講者は全員、研修終了時にコンプライアンスプログラムのポリシー、マニュアル、プロシーチャーの内容を十分に理解していなければなりません。各事業部門および各グループファンクションにコンプライアンス窓口が設置され、窓口の担当者は、

キーロールに認定された従業員にコンプライアンスプログラムの最新情報を提供し、従業員が同プログラムの要件を満たしていることを確認する責任を負っています。グループ倫理・コンプライアンス部門は倫理コンプライアンス短信を定期発行し、上級マネージャーとキーコンプライアンス担当に送付するほか、グループ広報チームが短信をグループ内の全言語に翻訳して連絡用ウェブサイトに掲載しています。

グループの倫理・コンプライアンス部門と監査部の協働によって、ABACおよび競争法遵守を、事業所監査の内部統制の評価項目に追加しました。ロビイストとの関係は、第三者との関係であるためABACプログラムが適用されます。公共政策の立案段階におけるロビー活動については、NSGグループの「倫理規範」およびNSGグループのウェブサイト（<http://www.nsg.co.jp>）をご覧ください。

各マネージャーは自らが受領した倫理・コンプライアンス関連の懸念報告を標準倫理・コンプライアンス報告フォームにより全てグループ倫理・コンプライアンスオフィサーに送るよう、「懸念事項報告・相談」ポリ

シーが改定されました。当社グループは従業員がまず人事部門または現場マネージャーに相談することを推奨する一方、従来どおりコーポレートガバナンスに関する懸念を外部団体が提供する倫理・コンプライアンスホットラインを使って通報することも認めています。ウェブポータルや電話からの通報は、法律の許す限り匿名で扱われます。ホットラインはグループ内で使用される全言語に対応し、従業員は倫理・コンプライアンスについてウェブポータルから質問することも可能です。最新版ポスターを全事業所に配布したほか、懸念事項調査プロシーチャーを定め、全ての懸念事項が必ず常時適切に調査されるよう配慮しました。

NSGグループは当社グループ営業代理店に対しても「営業代理店コンプライアンス・マニュアル」を配布し、倫理・コンプライアンスホットラインを提供しています。同ホットラインの利用方法はNSG公開ウェブサイトに掲載し、一般向けにも提供していきます。同ホットライン懸念事項管理システムには運用開始以来89件の報告が寄せられました。

# 事業概要

当社グループは、3つの事業分野で事業を展開しています。建築用ガラス事業は、世界の建築用ガラスのほか、太陽光発電分野にガラスを提供しています。自動車用ガラス事業は、世界市場で自動車用ガラスおよびグレーディングシステムを製造・販売しています。高機能ガラス事業は、ディスプレイやオフィス機器、ガラス繊維分野で事業を展開しています。

\*2015年3月期現在

## 建築用ガラス事業

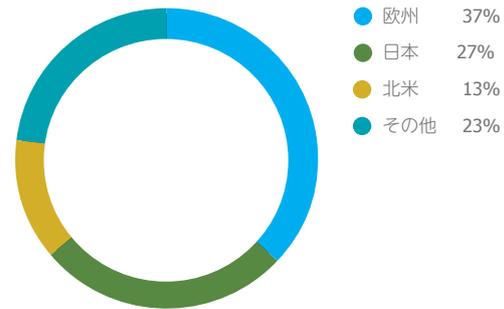
フロートガラス技術とコーティング技術のリーディングカンパニー

# 40%

グループ売上に占める割合\*

## 地域別売上構成比

2015年3月期



21カ国に約8,800人の従業員

## 主要製品

- 断熱ガラス
- ソーラーコントロールガラス
- 防火ガラス
- 太陽光発電用ガラス
- 防音ガラス
- 安全・防犯ガラス

## グループCO<sub>2</sub>排出量に占める割合

62%





### 自動車用ガラス事業

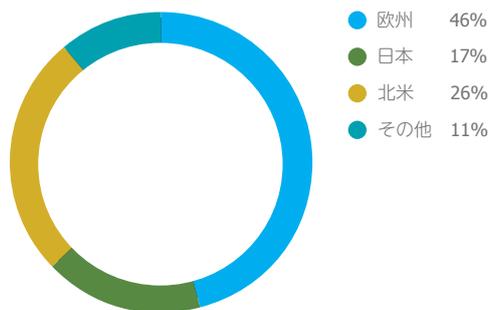
世界中の主要な自動車メーカーに製品を提供

# 50%

グループ売上に占める割合\*

#### 地域別売上構成比

2015年3月期



16カ国に約15,100人の従業員

#### 主要製品

- ソーラーコントロールガラス
- グレージングシステム
- 合わせガラス
- 強化ガラス
- 防犯ガラス
- 軽量ガラス

#### グループCO<sub>2</sub>排出量に占める割合

33%



### 高機能ガラス事業

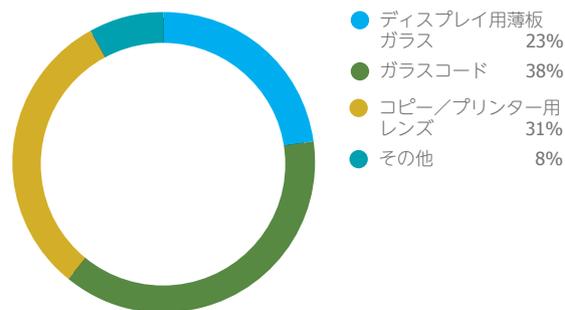
ディスプレイ用薄板ガラス、オフィス機器用光学製品の分野でトップメーカー

# 10%

グループ売上に占める割合\*

#### 製品別構成比

2015年3月期



5カ国に約2,000人の従業員

#### 主要製品

- LCD用薄板ガラス
- コピー/プリンター用レンズ
- ガラスコード
- 電池用セパレータ
- ガラスフレーク
- メタシャイン®

#### グループCO<sub>2</sub>排出量に占める割合

5%



# 建築用ガラス

NSGグループのガラス製品は現代建築物に必要な不可欠な素材として広く使用されています。新旧を問わず、あらゆる建築物が直面する環境問題の解決に貢献できます。

先進国で消費されるエネルギーの50%近くは建物によると言われています。適切なガラス製品を選択することで、初期投資や維持費を節約でき、建物から排出されるCO<sub>2</sub>の排出を削減できます。

オランダTNO応用科学研究機構が行った研究では、欧州内の全ての建築物にソーラーコントロールまたはLow-Eガラスを取り付けた場合、2020年までに年間最大で1億7,000万トンのCO<sub>2</sub>排出量削減が可能であると報告されています。

当社のガラス製品は、防火、防音、安全・防犯、エレクトロクロミズム、セルフクリーニング、導電性などのさまざまな最新機能を提供します。

## 断熱と遮熱



当社のガラス製品は、グローバルな課題である建物のエネルギー効率改善やCO<sub>2</sub>排出削減に取り組む上で極めて重要な役割を果たしています。

低温気候下では、Pilkington Energy Advantage®のようなLow-E(低放射)コーティングガラスを使用することで、室内の熱を内部に反射して窓からの熱損失を抑え、採光量を大幅に減らすことなく大量の日射熱(パッシブエネルギー)を室内に取り込んで暖房効果を高めることができます。

高温気候下では、最新ソーラーコントロール用のコーティングガラスを使用すれば、可視光の大部分を透過させつつ、ガラスを通過する日射熱を最大75%まで反射・カットし、眩しさも軽減することができ、その結果、冷房負荷を低減することが可能です。

スペーシア®は当社グループが世界で初めて商業生産した真空ガラスです。一枚ガラスと同じ厚さでありながら、従来の複層ガラスと同レベルの断熱性を提供します。スペーシア®クールは、熱貫流率が低く(0.9W/m<sup>2</sup>K)、歴史的建物や特殊用途に広く用いられています。

## 防火ガラス



Pilkington防耐火ガラスは30年以上前から世界中で信頼ある高透過ソリューションとして好評を博して来ました。現在提供しているPilkington Pyrostop®とPilkington Pyrodur®, Pilkington Pyroclear®は、世界中の様々なビル、海上および陸上輸送用の車両・船舶等に使用されています。

当社製品の長年にわたる驚異的な信頼性は、独立機関による様々なPilkington防耐火ガラス組込製品のテスト結果が証明しています。Pilkington Pyrostop®とPilkington Pyrodur®は、国際基準であるENとULに基づき環境製品宣言 (EPD) 適合を認定されました。

## 太陽光発電用ガラス



太陽光発電パネルは、その製品ライフサイクル全体を通して、製造時に使用されたエネルギー量の15倍を超える電力を発電することが可能です。NSGのガラスは、大手ソーラーエネルギー会社が製造するモジュールの不可欠の部材です。

NSGグループはガラスコーティングおよび低鉄ガラス組成の技術的リーダーであり、私たちの製品は太陽電池パネルメーカーがさらに効率的なモジュールを製造するのに役立っています。NSGの反射防止コーティングは、太陽エネルギーの透過を最大化するのに役立っており、透明伝導膜 (TCO) 付ガラスのTEC®製品は発電システムの一部に組み込まれています。

# 自動車用ガラス

自動車用ガラスのリーディングサプライヤーとしてNSGグループは、CO<sub>2</sub>排出量削減や車両の安全性からリサイクルに至るまで、自動車メーカーがサステナビリティ関連の諸問題に対応するためのソリューションを提供することを目指します。

NSGグループは、自動車から鉄道車両、トラクターに至るあらゆる市場で顧客と連携し、環境に優しいデザインを採用した新モデルの開発に協力しています。自動車用ガラスは、透明でさえあれば良いというだけでなく、遮音性、堅牢性、軽量化、密閉性、カメラ安全システム、ソーラーコントロールなども配慮した設計が必要になります。当社グループは太陽光発電システムを搭載したルーフガラスを提供しています。このソーラーパネルは自動車への電力供給が可能で、既存電力源への依存が軽減されます。

NSGグループの自動車用ガラス製品は、太陽が発する赤外線を吸収または反射する最新ソーラーコントロール性能を提供します。車内の熱負荷の約30%はフロントガラスから侵入します。車内に侵入する熱エネルギーを抑制すると、自動車のエアコン負荷が減り、燃費が向上し、その結果CO<sub>2</sub>排出量が削減されます。紫外線を最大99%カットし車内温度の上昇を防ぐPilkington EZKOOLR®やNSG Angelguard99にフロントガラスを交換することで、自動車の消費エネルギーを削減できます。

## 先端機能ガラス



車両技術の進化により、乗員乗客や通行者の保護にとってガラスは欠かせない要素となりつつあります。自動緊急停止システムやHUD（ヘッドアップディスプレイ）で運転者に重要情報を提供するのに使われているカメラには、高度な一体化が求められます。NSGグループはパートナー企業と緊密に協力しつつ道路の安全性を高める活動をリードしていきます。環境に優しい自動車の重要性は、エネルギー効率の高いモデルに対する消費者のかつてないほどの要求の高まりを背景として、ますます増大しています。車体の軽量化設計は、自動車のCO<sub>2</sub>排出削減とエネルギー効率改善に欠かせません。当社グループで開発を進めるガラス成形技術により、自動車メーカーは自動車に使用するガラス部材の質量を最大25%削減することが可能となります。



## 補修用ガラス

自動車のフロントガラスは、搭乗者の安全を守る重要な要素の一つですが、私たちはそれが壊れるまでその重要性をあまり意識しません。一部が欠けたり、ひびの入ったフロントガラスは、視認性を低下させ、時間の経過につれていずれは自動車の構造物としての一体性を損なうことにもなりかねません。NSGグループの自動車補修用ガラス (Automotive Glass Replacement (AGR)) サービスは、世界中の自動車補修用ガラス事業者に広範な種類のOEM品質の補修用ガラスを提供し、新車と同じ品質のガラスに迅速に交換することを消費者にお約束します。



## ライトレール

NSGグループはトラック、バス、オフロード車、船舶、ライトレール等の特殊輸送機材向けグレージングソリューションのメーカーとして世界をリードしています。幅広い研究開発活動と膨大な成形技術の蓄積により、私たちはサイズや複雑性において世界一のフロントガラスを完成させる力を持っています。品質と安全性は運転者の命に関わります。鉄道車両のフロントガラスには94口径の空気銃を使った各種国際基準に基づく衝撃試験が求められています。

# 高機能ガラス

高機能ガラス事業部門の製品は、広範な製品分野で省エネとサステナビリティに貢献しています。

ガラスはハイテク材料として、軽くて、丈夫で、難燃性に優れ、非導電性と耐薬品性を有するため、多くの可能性を秘めています。NSGグループの特許製品は、伝動ベルトに用いることで燃費を改善し、低出力LEDプリンターの部品として小型化や低消費電力化を可能にし、コーティングに用いることでビルや機器の耐久性を高めることができます。当社グループの超薄板ガラス製造における専門性を活かして、次世代型タッチスクリーン機器を開発することが可能です。

## グラスコード使用のタイミングベルト

NSGグループの一員であるNGFが提供する高度なグラスコード技術によって、自動車産業は次世代のエネルギー効率の高い自動車を開発することができます。

この技術は主に自動車エンジンのタイミングベルトや電動パワーステアリング (EPAS) に採用されており、燃費性能の向上とCO<sub>2</sub>排出量の削減が可能です。

NGFの高張力 (HTS) グラスコードは大幅にベルトの弾性と延伸抵抗を改善します。この先進の技術は革新的な「ベルトインオイル」システムに組み込まれ、エンジンのさらなる高度化を実現しました。このシステムにより、ベルト回転時の静粛性と効率改善が達成され、同時に従来のタイミングチェーンと同様の耐久性も実現しました。さらに、ベルトはエンジンの寿命が尽きるまで使用可能です。

PSAのEB型エンジンは2015年の最優秀エンジン賞 (1~1.4リットル部門) に選ばれています。この先進的な3気筒エンジンには、当社グループの高張力グラスコード技術を生かしたタイミングベルトが採用され、NGFから顧客であるDaycoを通じて提供されています。

### ディスプレイとタッチパネル



NSGグループは、小型LCDディスプレイ用超薄板ガラス(UFF<sup>®</sup>)の世界トップレベルのサプライヤーです。厚さ0.3~1.1mmの超薄板ガラスを提供することができます。これらの製品は、成長するタッチパネル市場においても使用されています。タッチパネルはスマートフォンやタブレット、コンピューターへの搭載が増えており、最近では車載用にも利用が広がっています。このテクノロジーにより周辺機器を追加する必要性が低下し、テクノロジーとのインターフェースがより自然になります。

### LEDプリントヘッド



NSGはプリンターおよびスキャナー製造業の富士ゼロックス社と、オフィス機器の低消費電力化のための新世代発光ダイオード(LED)プリントヘッドを共同開発しています。当社グループの独自技術であるセルフフォーカスレンズアレイ(SLA<sup>®</sup>)を使った新型プリントヘッドは、小型、低消費電力、低騒音でありながら、標準的なレーザースキャナーと同等レベルもしくはそれ以上の画像品質を実現しています。これにより光学システムの小型化および製造コストの削減が可能となりました。

### バッテリーテクノロジー



NSGグループはバッテリーセパレーターに使用される高性能ガラス製品の開発で世界をリードしています。アイドリング中の燃費改善のため、最近の自動車に取り付けられるISS(アイドリング・ストップ・アンド・スタート・システム)には高吸収ガラス繊維マット(AGM: Absorbed Glass Mat)セパレーターが使用され、これによりバッテリー効率が大きく向上しています。NSGグループは、次世代電池の容量、安定性、出力、安全性向上を目的として研究・開発を行っています。厚さ30 $\mu$ m、空隙率85%を超える当社グループの極薄ガラスペーパー(SGP: Super Glass Paper)は、次世代リチウムイオン電池および燃料電池の開発を支えています。



# 環境方針と 環境マネジメント

NSGグループは環境に対する責任を真摯にとらえています。事業を行う上で、全ての法的基準を遵守することは企業として最低限守るべき義務であり、それぞれの国や地域の法律や基準では問題の対応に十分ではないと思われる場合は、グループ独自の基準を適用して対応しています。

## NSGグループ環境ポリシー

「NSGグループ環境ポリシー」は、環境問題に対するNSGグループのアプローチを定義し、現在の事業活動はもちろん過去の事業活動や買収先など他社から引き継いだ責任を含めた環境管理について定めています。NSGグループはこのポリシーに則り、当社の事業がもたらす環境に対するプラスの影響とマイナスの影響を確かな科学的根拠に基づいて予測・評価します。

当社グループは、建物や自動車の省エネ製品を生産することで気候変動の緩和に貢献しています。

ガラス製造業が環境に与える影響を避けることはできないことを認識した上で、環境への負荷をコントロールするシステムを整備し、負荷を最小限に抑えるための対策を講じています。一方、NSGグループの製品を使用することは環境負荷の低減につながります。

NSGグループの環境マネジメントシステムはその要となるものです。私たちのガラス製造・加工拠点の大部分は環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001認証を取得しています。

私たちは、環境実績の良し悪しに関係なく必ず報告を行います。NSGグループが直接的な支配権を持つ製造拠点について、環境実績を観測し報告しています。NSGグループは、各事業所の敷地およびその周辺地域における過去の事業活動に関連したさまざまな問題に関して、世界各国の規制当局と連携を図っていきます。

## データ収集

環境・安全実績については、現在オンライン報告システム「Airsweb™」を使用して、グループ全体でデータを収集しています。このデータベースは多言語に対応し、NSGグループの全ての事業所が社内イントラネット経由でアクセスして関連情報を毎月更新できるようになっています。

環境関連のデータは、エネルギー、大気中への排出量、水使用量、リサイクル、廃棄物などの項目ごとに集められます。これらの項目は、GRI(グローバル・レポーティング・イニシアティブ)ガイドラインの環境パフォーマンスの中核指標を参考にしています。

Airsweb™システムは、排出量や資源使用量のデータ収集システムであると同時に、災害報告システムとしての機能も兼ね備えています。この機能により、安全と環境に関する災害情報をタイムリーに報告・記録することができます。また、災害対応の進捗状況や是正状況を追跡できるほか、災害事例から学ぶべき事項を共有することができます。

## 環境データのモニタリング

NSGグループは、定期的な業務モニタリングに加え、数々のデータベースを一元的に管理し、サステナビリティ分野における戦略の策定や高度なコーポレートガバナンスの維持にこれらのデータを活用しています。例えば、全ての溶解炉について、最新版の許可証や関係法令、環境負荷軽減能力のデータを保管し、業務上や設計上の変更が提案された際の評価に活用しています。

NSGグループは、革新的な取り組みを一貫性を持って実現するために、多分野にまたがる委員会を多数運営し、さまざまな変更案に対して評価・検討を行っています。ステージゲートプロセスを活用して、プロジェクトの開発や提案の各段階で適切な情報とリソースが割り振られるようにしています。これにより、経営リソースの最も効率的な利用とイノベーションの促進を図っています。

ガラス溶解工程を有する工場に関しては、環境負荷の軽減に対する戦略的アプローチを明確にし、法規制が未整備である地域も含め世界中でグループ方針の遵守を徹底しています。



## 認証

NSGグループは、全ての製造施設においてISO14001を取得することを目指しています。現在世界中で81拠点が認証を取得しており、これは売上ベースで事業全体の70%に相当します。

当社グループの自動車用ガラス事業部門は自動車業界内でいち早く環境マネジメントの企業認証を取得しました。第三者試験認証機関TÜV SÜDマネジメントサービス社により与えられた1件のDIN EN ISO 14001認証により、グループファンクションと世界各地の自動車用ガラス事業部門の事業所の大部分がカバーされます。

フィンランドのタンペレとウロヤルヴィの工場は、2015年10月に自動車ガラス加工工程のエネルギー管理システムに対して国際規格であるISO 50001認証を与えられました。これはすでに認証を取得しているガラス溶解・加工工程を有するドイツとイタリアの工場に続いての認証です。

## 環境製品宣言 (EPD: Environmental Product Declaration)

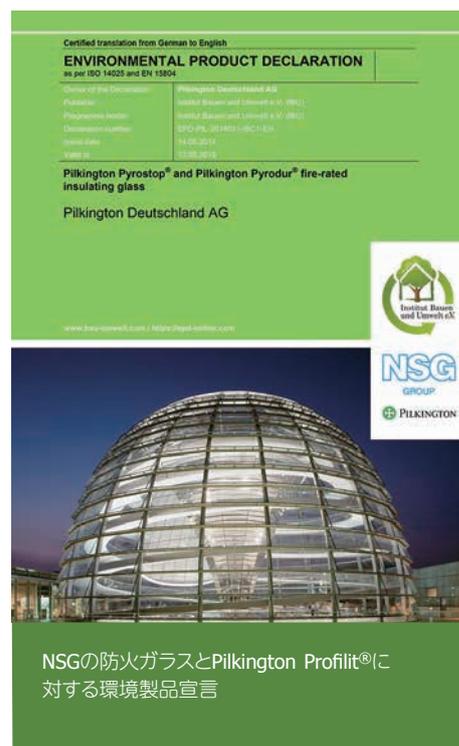
環境製品宣言 (EPD) は、製品のライフサイクルを通じた環境への影響に関する情報を提供するタイプⅢ環境ラベルの認証プログラムです。

ドイツのInstitute of Building and Environment (IBU) は、ISO 14025およびEN 15804に従い、Pilkington Profilit®と防火ガラスのPilkington Pyrostop®およびPyrodur®にEPD認証を与えました。また、建築士や建築プランナーは、建物の詳細なサステナビリティ評価を行うために、スウェーデン環境管理評議会のウェブサイトであるEcoprofileから信頼性の高い環境情報入手できます。

ピルキントンドイツAGは、Profilit®と2種類の防火ガラス製品 (1枚ガラスと合わせガラスの両方) にIBUロゴを付ける認可を受けています。宣言はIBUのリストに掲載されており、請求すれば取り寄せられます。



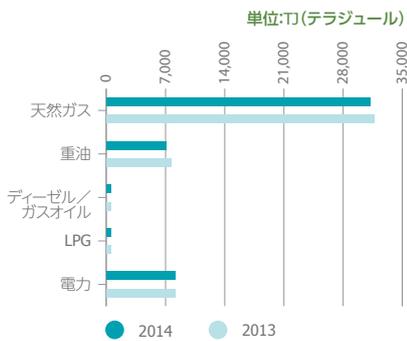
フィンランドの自動車用ガラス加工工場は、最近エネルギー管理の国際規格であるISO50001を取得しました。



NSGの防火ガラスとPilkington Profilit®に対する環境製品宣言

# エネルギー使用

エネルギー使用量(燃料別)



エネルギーマネジメント活動サイクル

NSGグループは、ガラスの使用を通して最終的にはサステナビリティにプラスの効果をもたらすよう、全ての工程におけるエネルギー投入量を最小限に抑えることを目指し、継続的に取り組んでいます。

## NSGグループのエネルギー使用

環境とコストに配慮し、ガラス溶解用の燃料に可能な限り天然ガスを使用するようにしています。2014年の天然ガス使用量は前年より1%減少しました。

## エネルギー利用量削減の取り組み エネルギーパイロットプラント

エネルギーパイロットプラントとは、エネルギー効率および効果を高めることでエネルギー費用を大幅に削減するための新しい考え方です。4つのパイロットプラントで、この3年間フェーズ1の取り組みに従事してきました。2015年度は5つのパイロットプラントでフェーズ2の取り組みが開始されました。さらに今年は、日本、ベトナム、ブラジルで新しいパイロットプラントの運用を開始する予定です。新旧のパイロットプラントを合わせると、NSGグループ全体のエネルギー支出の63%に達します。

これらのパイロットプラントでは、工場長のリーダーシップの下、様々な分野のメンバーからなるチームが他のグループファンクションの積極的なサポートを受けながら活動しており、外部サプライヤーもフルに活用しています。全部で100件以上のプロジェクトが検討中または進行中です。

## 操業エネルギー効率化プロジェクト

オペレーションコストセービング(OCS)プログラムは、主要費用および間接費用も含めたあらゆる事業経費の削減を目指すものです。グループ最大の主要費用の一つはエネルギー費用です。全事業所のコスト削減活動をサポートするため、OCSデータベース内のエネルギーに関するプロジェクトが詳細に分析され、その中から2015年度のエネルギー消費量の削減および費用の節約に貢献しそうな多数のプロジェクトが特定され、迅速に実施されました。2015年度はグループ内全製造事業所で、少なくとも一つのOCSエネ

ギープロジェクトが実施されました。

製造革新部が主体となり、他のグループファンクションの支援も得て、68件の投資額ゼロのエネルギー最適化の取り組みによって年間21,000トンのCO<sub>2</sub>削減を達成しました。

大規模プロジェクトとしては、溶解炉の燃料燃焼最適化、モーターのインバーター化、コンプレッサーの台数制御等があります。各事業所の削減量をモニタリングした結果、1年間で電力9GWhおよび化石燃料57GWhが節約されました。

電力サブメーターと高エネルギー効率の照明を複数の事業所に設置したことで、2014年には2,000トンのCO<sub>2</sub>を削減しました。

廃熱回収施設の導入によりさらに電力と天然ガスの消費を節約することができ、年間4,000トンのCO<sub>2</sub>を削減しました。

## エネルギー管理システムの導入

エネルギー管理システムに対する投資の結果、ドイツ、イタリア、そして最近ではフィンランドのガラス溶解工程を有する全ての工場がエネルギー管理の国際規格であるISO 50001認証を取得しました。これらの工場にはエネルギー消費を項目別に細かく監視するためのサブメーターが導入され、エネルギー消費の見える化によって、改善活動や目標を継続的に見直すことで、高度なエネルギー計画の立案が可能になりました。

## エネルギー委員会

全ての取り組みは、半年に一回COOを議長として開催されるエネルギー委員会で、各SBUおよびグループファンクション長によりレビューされます。



### 従業員の意識向上

グループの全事業所を対象に、従業員の意識向上による省エネ推進プログラムが進行中です。生産工程のエネルギー効率の大幅向上を目指し、製造部門のチームが多数参加して、省エネプロジェクトの全社データベースを作成しプログラムを進めています。

### 事業所内での再生可能エネルギーの生成と代替燃料

重油の代わりに廃棄物を原料としたバイオ燃料をガラス溶解炉で使うことで、年間8,000トンのCO<sub>2</sub>の排出を削減しています。

米オハイオ州のロスフォード事業所の研究開発センターでは、敷地内に太陽光パネルを設置し、センターの年間電力使用量の約7%を賄っています。ドイツのヴァイハマー事業所でも、事業所の屋根に太陽光パネルを設置しました。

### サプライヤーと連携した省エネプロジェクト

主要サプライヤーと協力して、製造拠点のエネルギー消費量を削減するプロジェクトを立ち上げ進めています。各技術分野のトップ企業との密接な協力体制を通して、個々のエネルギー管理問題に最適な解決策を実行しています。また、高効率コンプレッサーへの切り替えによる省エネ、フロートガラス製造工程で発生する廃熱の再利用、電力消費のピーク時間帯を避けた節電など、サプライヤーと協力してさまざまな省エネプロジェクトを進めています。

### カレットのリサイクル革命

当社グループのワトソンストリート事業所では、顧客企業へのガラス納入に用いる「フロートライナー」と呼ばれる専用車に載せて使うプラスチック容器への投資を継続しています。戻ってきた顧客企業のカレットを再度溶解して利用することで、エネルギー消費量と原材料の分解を削減、年間3,000トンのCO<sub>2</sub>排出を削減できました。



最近導入された照明システムは、自然採光で十分な明るさが得られたら自動的に消灯する受動赤外線センサーを使用しています。

### 舞鶴フロートライン



舞鶴フロートライン(MSF)は、燃料を重油から液体天然ガス(2つの大きなタンクに貯蔵)に切り替える大規模プロジェクトによって、燃料コストを節約しCO<sub>2</sub>排出を削減しました。硫黄分の削減により、排煙脱硫設備を簡素化することもできました。



## 環境負荷低減の推進

ガラス製造はその工程で原料を高温で溶解し、大量のエネルギーを消費します。この工程で発生する大気への主な排出物は、燃料の燃焼による生成物と原料（ソーダ灰、苦灰石（ドロマイト）、石灰石）の分解により発生するCO<sub>2</sub>です。

### 大気への排出

ガラス溶解炉は様々な汚染物質を排出します。主要な排出物としては、清澄剤や重油燃料に含まれる混入物から出る硫黄酸化物、高温の燃焼工程における燃焼空気により生成される窒素酸化物、熔融工程から排出される粒子状物質、および原材料の分解および燃料の燃焼の両方から排出されるCO<sub>2</sub>があります。私たちは、多様な一次的、二次的制御技術を用いてこれらの排出物削減に努めています。一次的方法とは、汚染物質の生成をその源で削減するための方法であり、排出につながる原材料や重油の代替技術、特別な燃焼装置の使用、溶解炉のエネルギー効率化等がこれに当たります。

生産コストの削減にもつなげるため特に注目を集めているのが後者の二次的制御法で、溶解炉の排気ガスが煙突から排出される前に煙の中から有害物質を除去する処理装置を用います。酸性ガススクラバー、電気集塵装置、選択的触媒還元装置等は最近利用が拡大しており、世界中の事業所で導入が進んでいます。



舞鶴—新型の大気汚染防止施設

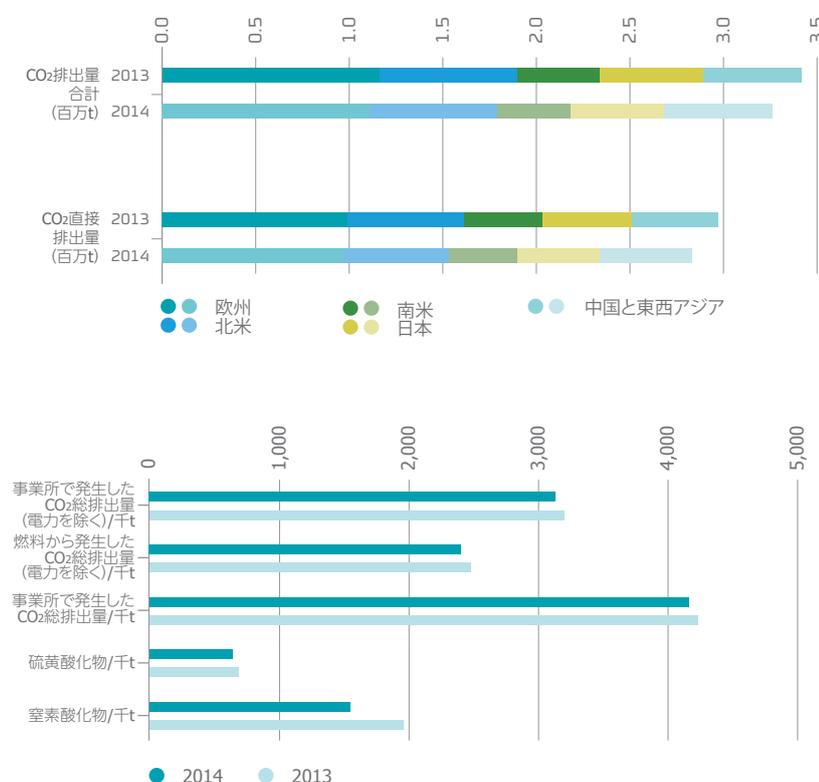
NSG舞鶴事業所の溶解炉に新しい汚染防止設備が設置されました。中央に粉塵除去のための電気集塵装置、その左側に酸性ガススクラバー、右側に煙突が配置されています。これを機に燃料を重油からガスに切り替え、大幅なCO<sub>2</sub>排出削減も達成します。



### CO<sub>2</sub>排出のモニタリングと削減

2014年にNSGグループでは、直接排出と間接排出の合計で420万トンのCO<sub>2</sub>を排出しました。そのうち直接排出は310万トンでした。ガラス溶解炉から直接排出されるCO<sub>2</sub>と自動車用ガラス事業と建築用ガラス事業の曲げ・強化炉で使用される燃料から排出されるCO<sub>2</sub>を合わせています。当社グループでは、重油から天然ガスへとフロート溶解炉の燃料の切り替えが進んだことにより、過去40年間でのCO<sub>2</sub>の排出量をほぼ半減することができました。設計・運用上の技術革新により、さらに削減が進んでいます。

### NSGグループのガラス溶解によるCO<sub>2</sub>排出量



### カレット利用で燃費効率向上と排出削減

リサイクルガラスは貴重な資源です。許容範囲の品質であれば、切り落としたガラスやカレットは全てガラス溶解ラインに戻してリサイクルしています。川下加工拠点や顧客企業から回収したガラスは、私たちにとっては有益な資源です。カレットの利用には二重のメリットがあります。ガラス製造に必要な原材料を削減できることに加え、廃材になるはずのものを廃棄せずに済み、ほぼ完全なリサイクル・ループを実現しています。原材料の10%にカレットを利用すると溶解炉のエネルギーを3%節減でき、その結果CO<sub>2</sub>排出量の削減につながります。先頃、当社グループの1事業所で原料が100%カレットのガラスを製造しました。省資源化のため、世界各国で継続してガラスカレットの回収・リサイクルを推進しています。

埋立て処理は最後の手段です。グループ内の工場で再溶解できないガラスは、可能な限り外部業者にリサイクル処理を依頼しています。

# 環境負荷低減の推進 (続き)



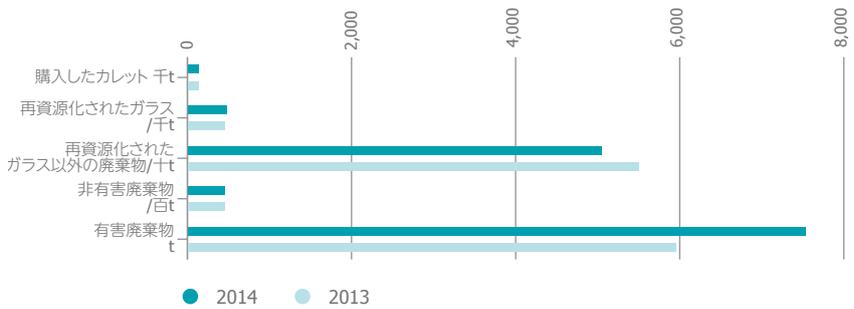
研磨汚泥脱水設備



研磨汚泥

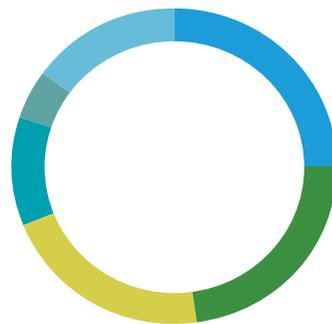
サンドミエシュ、フミエルフ、コリングウッド、およびサンサルボ事業所では研磨汚泥をリサイクルに回してコンクリート製品に生まれ変わらせています。

## NSGグループの廃棄物



## リサイクルと廃棄物の組成

ガラス製造工程そのものは非常に少量の廃棄物しか出しません。切断したガラスの端材は全て再度溶解されてリサイクルされます。PVBは、主に自動車のフロントガラス用の合わせガラスの中間膜として使用されます。合わせガラスの端から裁断されるPVBは、PVBサプライヤーに戻され、リサイクルされます。2014年には約2,000トンのPVBがサプライヤーやリサイクル業者に回収され、再利用されました。残りの埋立て廃棄分は、主に廃棄されたガラス、規格外原材料、一般廃棄物、ガラス研磨スラッジ等からなります。NSGグループは2007年以降埋立て廃棄分を半分減らすことに成功しました。そしてさらに2018年度末までに2013年比で20%削減するという新しいサステナビリティ目標を設定しました。(5ページ参照)



- 廃棄ガラス 25%
- 規格外原材料 23%
- 混合一般ごみ 21%
- ガラス研磨汚泥 11%
- フィルターおよびEPから出た粉塵 5%
- その他 15%

## ガラス研磨汚泥

私たちは積極的にリサイクルのパートナーを見つけ、廃棄物を埋立て処理にまわす代わりにコンクリート製品その他の骨材製造業者に原材料を提供してきました。

## フロートガラス規格外の原材料

2015年私たちは、汚染物質処理設備によって収集されたガラス粉塵および規格外のためしばしば配合不可となる原材料の削減やリサイクルのための新しい方法を模索しました。ロスフォード事業所では規格外原材料を減らす対策として、工程モニタリングおよび制御システムの自動化が進められました。またオタワ事業所では、バッチ漏出を減らすための新しいパツ



チ工場が建設されています。

### 廃棄ガラス

大量の廃棄ガラスを排出している事業所は、カレットの分別およびリサイクル方法を見直し、フロート工場での再利用拡大その他のリサイクル改善策を検討しています。マレーシアのスンガイブロー事業所では印刷カレットを全て再利用しており、合わせガラスに関しては再利用のためのパートナーを見つけました。全ての事業所では、汚染されたカレットおよびガラス粉塵のリサイクル方法が再検討されています。

### 一般廃棄物

大規模な事業所に対しては、一般廃棄物の分別をさらに徹底できるようサポート体制がとられており、グループ購買部門がパートナーとなり得る地元リサイクル業者の選択に積極的に関わっています。

### 自動車ガラス材料

自動車用ガラスについては、調達した全ての原材料データを世界規模の自動車産業向け環境負荷物質情報システムIMDS (International Material Data System)に登録しています。これにより、原材料の成分が一目でわかり、使用材料のコンプライアンス、リサイクルの可能性などを確認することができます。このデータは、顧客企業である自動車メーカーも閲覧可能で、顧客企業の使用材料のコンプライアンス、リサイクルへの取り組みにも役立っています。

PVBは、主に自動車のフロントガラス用の合わせガラスの中間膜として使用されます。合わせガラスの端から裁断されるPVBは、PVBサプライヤーに戻され、リサイクルされます。2015年には約2,000トンのPVBがサプライヤーやリサイクル業者により回収され、再利用されました。

### 水

ガラス製造工程では、水は徐冷工程で使用されますが、ほとんどの工場は水循環システムで稼働しており、補充のみ必要になります。また、工場内でガラスを洗浄する際にも水が使用されますが、ここでは純度の高い水が必要となるため浄化処理後の水を再利用しています。産業排水の処理業者と協力し排水のリサイクルを実施するとともに、最新の水処理施設を導入して水の使用量を最小限に抑えるよう努めています。これは、水使用量を削減できるだけではなく、水処理に使用される化学物質の使用量を削減する効果もあります。

グループ内でも、工程または製品の違いや水質の違いにより、水の使用量は大きく異なります。通常はフロートガラスの製造1トンあたり最大2m<sup>3</sup>の水が必要となり、自動車用ガラス製品の加工1m<sup>2</sup>あたり最大90ℓの水が必要となります。2015年の水総使用量は、1,880万m<sup>3</sup>でした。

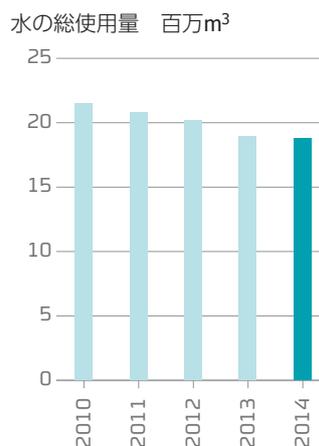
### 木材

欧州では、多くの場合、ガラスは梱包せずに「フロートライナー」と呼ばれる専用車で輸送されます。この車では大型ガラスをスチール製の台に乗せ輸送しますが、製品を梱包する必要はありません。欧州以外では、ほとんどの場合、ガラスを木製の箱で輸送しており、サプライヤーと協力して再利用可能な木製梱包材の設計に取り組んでいます。これらの木箱に使用する木材の多くは持続可能な森林で調達されています。

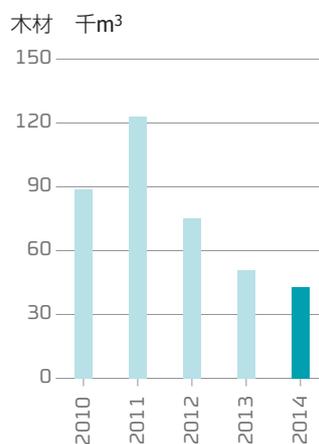


ブラジルのカサパバ事業所での廃棄物分別の取り組み

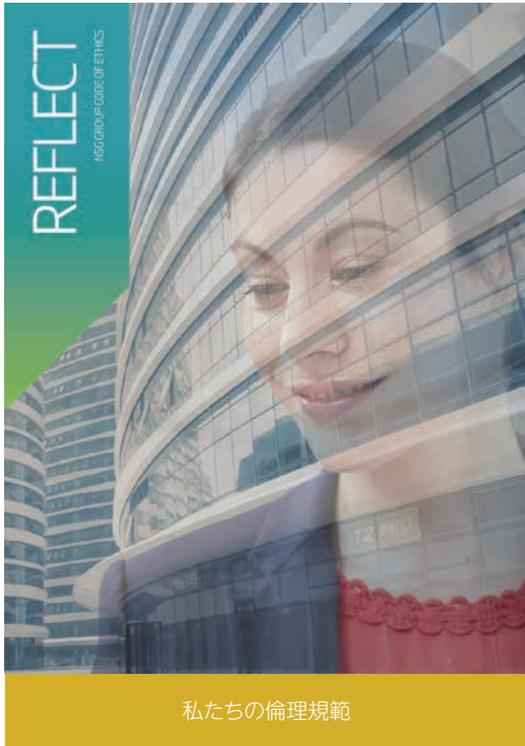
### NSGグループの水利用



### NSGグループの木材利用



# 従業員



NSGグループの根幹をなす経営理念は「事業は人なり」です。全ての事業活動において安全・品質・環境に対する責任を第一に考え、雇用方針の柱として「オープンなコミュニケーションと透明性」を推進しています。

## NSG倫理規範

NSGグループの「倫理規範」は、グループの経営理念と行動指針を反映したものであり、全ての従業員に求められる行動を規定しています。倫理規範では、そのような行動として次の3点が強調されています。当社グループの従業員一人ひとりが責任を持って倫理的行動をとること、同僚、顧客企業およびサプライヤーとの間におけるオープンなコミュニケーションと透明性確保、ならびに世界のある場所での非倫理的行動は別の場所での代償となって返ってくるということを理解することです。

倫理規範では、国際的に宣言された人権を尊重することを明確にしています。当社グループはこの人権尊重の考え方に沿った雇用方針・雇用慣行をグループ全体で適用することにより、従業員の公正な取り扱いを保証しています。NSGグループの機会均等および多様性に関するポリシーは、ダイバーシティ（多様性）を尊重し、人種、皮膚の色、信条、国籍、年齢、配偶者・パートナーの有無、妊娠と出産、性別、性転換、性的指向、宗教、またはその他のあらゆる法で保護された地位を理由とする差別の禁止を目的としています。このポリシーは雇用関連の決定を行う際に必ず適用されます。人権に関する当社グループの最高責任者は、最高人事責任者（CHRO）です。

## 従業員エンゲージメント

NSGグループは社内コミュニケーション体制を確立しており、事業部門ごとに定期的にかスケード方式で情報や説明を提供し、双方向のコミュニケーションを促進する仕組みを整備しています。これにより従業員は、グループおよび自分が勤務する事業所の事業方針・目標・業績はもちろん、グループレベルおよび事業部門レベルのベストプラクティス

など、常に最新情報を知ることができます。たとえば、各事業部門長は従業員向けに事業概況を説明するメッセージを毎月発行しています。また、社内報「MADO」世界版を各国語に翻訳の上、年3回発行しています。MADO世界版の他に、事業規模の大きな国ではMADO国内版も年3回発行しています。NSGグループでは、地域の状況や要件に応じて、グループの事業状況および今後の計画について、組合や従業員代表向けに会社側から説明を提供し、協議する仕組みを整備しています。

## 従業員意識調査

NSGグループが2014年9月に全世界で実施した従業員意識調査は、従業員が真の意味で懸念事項を提起し、グループポリシーや日々の行動を振り返る良い機会となりました。回答率は90%で、前回2011年の調査より3%向上しました。

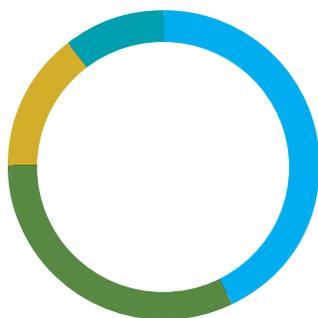
従業員は自分たちの声を事業に反映させることを望みおり、この調査により今後役立つ材料をたくさん集めることができました。一方、経営上のポイントとして、従業員のモチベーションの高さとグループ中期経営計画（MTP）に対する従業員の理解状況が明らかになりました。

この3年間の市場環境の変化によって、当社グループはビジネスモデルを再考しMTPを導入しましたが、その成否は従業員のコミットメントと集中力に大きく依存しています。

意識調査の結果を見ると、従業員のモチベーションは2011年より2%上昇し、グループ従業員の3分の2がMTPおよびその達成方法を理解していると回答しました。これにより私たちはこれらの分野でのコミュニケーションが、計画の初期段階にもかかわらず効果的に行われていると感じました。

このほか、グループの評価、直属上司との

## NSGグループ従業員分布 (2015年3月31日現在)



● 欧州	43%
● アジア	32%
● 北米	14%
● 南米	11%

関係、職場の環境、安全衛生全般についても満足しているとの回答が得られました。

意識調査の結果、従業員が会社の様々な分野での活動をどのように捉えているかが明らかとなり、またエンゲージメント改善の余地がどこにあるかも明白になりました。当然ながら、あまり高い評価の得られなかった分野もありました。NSGグループは4つの地域で事業を展開しています。したがって、国別、事業所別のアクションプランを策定し従業員にとって最も関係の深い問題に対処することが重要です。現在各地域では、2015年12月を期限とするプランが152件進行中で、定期的な進捗レビューが予定されています。

### 人材育成

私たちが意識調査で最も注目したのは、「NSGグループ内で自己開発および成長の機会があると信じている」と言う質問に対する回答でした。この分野の改善はグループ全体のエンゲージメント水準の向上に最も大きな影響を与えるとの分析結果があるからです。

この問題に対処するためNSGでは、マネージャーによる年度末人事考課で人材育成に関する話し合いをより効果的に行えるよう重点的にサポートしてきました。

人材育成の重視はグループの2016年度人材育成目標に反映されており、従業員の30%が自己開発計画を策定すること、ETWeb上に登録されていない従業員の30%が組織単位

での育成計画の対象となっていることが目標とされました。

### 国連ウィメンのHeForSheキャンペーンを支援

HeForSheキャンペーンは国連ウィメンが提唱するジェンダー平等のための連帯運動で、男性と男児たちにジェンダー平等と女性の権利の実現に向けた変革に積極的な役割を果たすよう呼びかけています。このキャンペーンは女性と女児たちが直面する不平等について皆が発言し、行動を起こすよう促します。このキャンペーンの目的は、あらゆる形の女性差別や女性に対する暴力をなくす責任を男性と男児たちが負っていることを自覚してもらい、立ち上がらせることです。

ブラジルのNSG事業所の従業員は最近このキャンペーンをサポートする様々な活動に参加しました。

当社グループでは、マーケティング用のメールや掲示板に職種や宗教、文化の異なる従業員の写真等と合わせてこのキャンペーンに関するメッセージを表示して、ジェンダー平等に関する従業員の意識改革に努めています。

ブラジルおよびチリの事業所では、HeForSheキャンペーンに因んだ取り組みを活用して、より多くの女性が製造業でのキャリア形成を検討するよう働きかけています。この取り組みは特に女性エンジニアを対象としています。

### NSGグループの女性従業員分布 (2015年3月31日現在)

#### マネージャーに占める女性の割合

アジア	3.9%
欧州	20.4%
北米	21.7%
南米	7%
NSGグループ全体	13.3%

#### 一般従業員に占める女性の割合

アジア	18.8%
欧州	15.1%
北米	18.5%
南米	6.5%
NSGグループ全体	15.9%



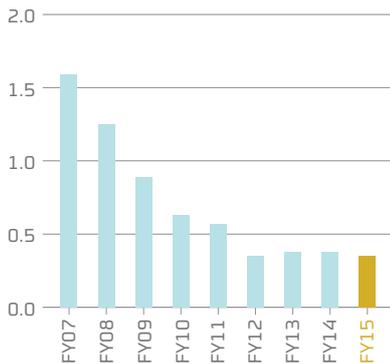
国連HeForSheジェンダー平等キャンペーンをサポートするブラジルの従業員



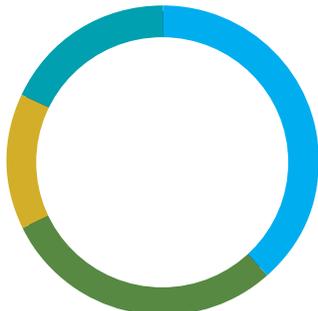
NSG従業員

# 安全・衛生

## 従業員の重大災害度数率(SIR)の推移



## 重大災害の種類



- ガラス取扱い中の切創 30%
- 一般作業 23%
- 滑り／躓き／転倒 11%
- エンジニアリング (建設、工事関係) 14%

当社グループの安全プログラムは、一人ひとりが責任を持って適切な安全行動を取ることに重点を置いています。マネージャーは当社グループの安全リーダーとして常に重要な安全行動を取ることを心がけ、模範を示します。

### 安全組織と戦略

NSGグループのサステナビリティ統括部長は、最高執行責任者(COO)の直属としました。安全実績の最新データを毎月提供するとともに、半年ごとに4つの事業部門の部門長とグループファンクションの部門長で構成されるシニアオペレーションチームでより詳細な安全実績のレビューを行います。2015年の安全実績レビュー会議は2月に英国で、9月にブラジルで開催されました。全ての労働災害は回避可能と考えられます。私たちは、どんなに小さな事故でも、全て報告し、適切な調査を行い、それらの災害から教訓を学ぶことを求めています。重大災害率が所定の値を上回る事業所は、特に重点的に追加のサポートや定期レビューの頻度を増やして対処しています。

### 安全実績

安全性の向上は災害を招く条件や作業をなくすことに重点を置いたアプローチから始まります。NSGは以下の項目からなるSafety 4 Waysを測定することで先取りの安全対策を推進しています：

- 安全改善活動(SIP)－災害につながる条件や作業を計画的に改める活動を通じて危険有害要因やリスクを減らす。
- 重大ヒヤリ(IHPS)－全ての災害を批判的に見つめ直し、一歩間違えば重傷や死亡事故に発展した可能性もあると自問自答して防止策を講じる。
- 重要安全行動(KSB)－頻繁なフィードバックを通じてどのようにしたらリスクのある行動を減らし職務を完了することができるかに重点的に取り組む。
- 年間重大災害度数率(SIR)－SIRはNSGの主要な安全指標で、治療を受けなければ、または業務を変更しなければ仕事を継続できないような負傷の記録を取ります。SIRは200,000労働時間当たりの災害発生比率で表されます。

2015年度のSIRは0.35で前年比(同一条件下で)10%の改善でした。これは前年比での改善に注力するというグループのMTP目標に合致します。

NSGでは高リスク作業を減らすことに重点的に取り組んできましたが、残念ながら2015年は3年振りに死亡事故が発生してしまいました。出荷のための積載作業中の従業員が、平台型トレーラーから転落して頭部を強打したのです。

私たちはこの災害を深刻に受け止め、二度とこのような災害を引き起こさないようしなければなりません。亡くなった従業員とその家族に対して、また全ての同僚とその家族に対して、どのような対策を講じるのかを明確にしてこれを伝え、世界規模で確実に実施しなければなりません。私たちは今後とも高リスク削減プログラムを推進し、安全ツールの拡充に邁進します。

この死亡災害ニュースが伝達されると、全てのSBUで転落の危険がある場所の点検、不必要な業務分野の洗い出し、高所作業が必要な場所でのあらゆる転落防止対策の実施等の改善プランが実行されました。最終的に、従業員が身につける保護具の改善を行い、中高所においても転落時対応型のヘルメットの着用を義務付けることにしました。

## 高リスク作業

以下の高リスク作業の安全対策プロジェクトに継続して重点的に取り組みます。

- 車両と歩行者の安全
- 機械安全:ガード、FASS\*、エネルギー遮断
- 請負業者の安全(作業許可含む)
- 重量物の運搬:ガラスの移動、安全な積み荷の搬送、吊り用クランプ、台車、パレット
- 運転
  - \*頻繁なアクセスのある装置に対するインターロックなどの安全保護策

## 安全を次の段階に進めるために

安全に関する戦略は従来通り、安全管理ツールとプログラムの有効性の改善に焦点を当てています。私たちは、従業員と監督者が以下の取り組みを通じてさらに高い水準の安全性を達成できると考えます。

- より一貫性のあるアプローチの推進、安全に関するスキルの育成、教訓の共有の強化を目的とした、環境安全衛生部門による安全管理ツール監査の実施。これらの安全監査はその効果を最大化するために、監査対象の地域や事業所以外の環境安全衛生部門の担当者によって実施されました。
- 安全文化を継続的に変革する手段として従業員の積極的参加の推進。
- グループ全体の安全リーダーシップ水準の向上を目的とした現場監督者の教育。

## NSGグループ安全の日

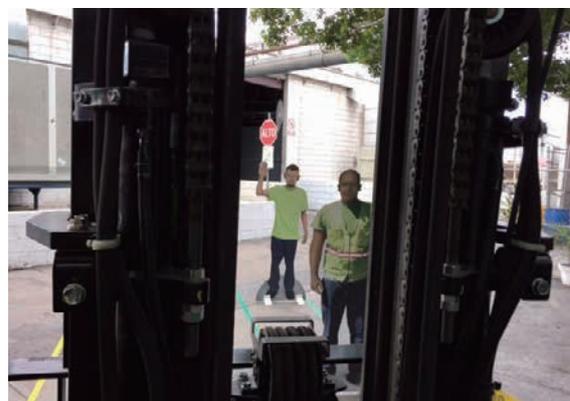
NSGグループ安全の日が2015年10月15日に開催され、今回も世界中で盛況なイベントとなりました。全ての事業所で応急処置、消防、緊急時対応などの従業員参加型の安全活動も開催されました。当日は、各事業所で開催されたイベントに上級マネージャーが出席し、この日に向けた自らの意気込みを示すとともに、優秀な安全実績を上げた個人・チームに対する表彰が行われました。



完璧なエネルギー遮断等の機械安全は引き続き最重点分野です。



安全の日ポスター



メキシコでは、安全の日の活動として歩行者がフォークリフトの運転席に座ってドライバーの視点からどこが死角になるかを学び、合図をすることの必要性を確認しました。

# 顧客



Blindex®安全ガラス

最高の安全品質とサービス水準は、顧客企業やエンドユーザーとの関係を構築する上で最も重要な要素です。

## 顧客第一主義

VAガラスカンパニーにとって、顧客の立場に立って、顧客の必要とするソリューションを提案することが不可欠です。NSGグループでは営業マネジメントチームを対象に、変化する市場ニーズに柔軟に対応できるようにするためのツールとスキルを身につけるリーダー研修プログラムを実施しています。建築用ガラスの北米チームが進めている「顧客第一」アプローチは、単に当社グループの製品およびサービスの品質を改善するだけでは終わりません。彼らが目指すのは顧客を完全に満足させることであり、それは個々の顧客にとっての「優れた製品・サービス」とは何かを明確に理解することによって初めて可能になります。組織の全員が一丸となって、顧客が製品またはサービスを購入する前から、その購入の最中も、そして購入後も一貫して満足の行く経験ができるようソリューションを提供します。

## 製品に対する責任

当社グループは、顧客企業が当社製品を安全に取り扱い、施工、使用できるよう、製品使用時の安全確保についても万全を期しています。私たちは、社会、環境および安全面で高い効果を発揮する製品やサービスをお客様に提供することを目指しています。当社グループが行っているトレーニングやサポートは、顧客企業がリスクを軽減したり、サステナビリティに対する課題認識を高めるのに役立っています。当社グループは、顧客企業が当社製品を安全に取り扱い、施工、使用できるよう、製品使用時の安全確保についても万全を期しています。その中には、作業者の安全に配慮した、かつ、品質や強度を損なわない自動車のフロントガラスの正しい取り付け方も含まれています。

Blindex®はその製品安全性能を向上させるために、シャワー室専用の安全ガラスを提供しています。Blindex®の実施した調査によれば、負傷リスクのある事故の大半はシャワー室ドアの破損に起因します。このデータに基づき、Blindex®はより安全性を高めるためにはドアへの安全フィルムの貼り付けが必要と判断しました。安全フィルムは製造ライン上でガラスの表面に貼り付けられ、ガラスと一体化します。ブラジルのBlindex®は全てのフランチャイズ店に必要な製造設備を導入しました。

製品の発売前、シャワー室ドアの破損が人々の生活に与える影響についてのニュースが流れました。販売開始に当たっては、シャワー室ドアの安全問題と怪我の防止策について認識を高める全国キャンペーンが展開されました。

## 最高品質

品質は、顧客企業やエンドユーザーとの良好な関係を構築する上で鍵を握る要素です。また、高品質化はサプライチェーン全体の無駄を省き生産効率が向上することから、サステナビリティを推進する上でも極めて重要な要素となります。ここで品質とは、設計、開発、製造、納品、組立、ガラスの価格、カスタマーサポートまでを含みます。NSGグループは、厳格な品質管理システムおよび品質管理基準により高品質の実現を支えています。建築用ガラス事業では、欧州、日本、北米、南米で品質管理の国際規格であるISO 9000:2000認証を取得しています。欧州の建築用ガラス事業部門は、欧州における建築用ガラス製品の基準の策定に中心的な役割を果たしています。これらの基準は、ガラスメーカーが欧州における建設製品指令に準拠した製品を作るために設けられたもので、NSGグループの建築用ガラス製品のほぼ全品が対象になっています。

## プロダクトイノベーション

NSGグループは、「ものづくり」とイノベーションにおける世界のリーディングカンパニーです。とりわけ、ガラス溶解、フロート製法によるガラス形成、オンラインコーティング、自動車用フロントガラスやリアガラスなどに用いられる複数形状形成技術においては、業界トップレベルの優れた技術力を持っています。2015年度の当社グループの研究開発費は82.12億円でした。

NSGグループでは、フロートガラスの製造・加工、自動車用ガラス、IT分野で使用されるガラスを中心に約4,000件の特許を取得または申請しています。また、他企業などが開発した技術などについてもライセンス契約に基づき、利用可能なものがあります。

さらに、オンラインコーティング、自動車用ガラスのエンキャプシュレーションや降雨感知センサーなどの分野では、当社グループが保有する特許や技術の一部を当社の定める基準を満たした企業にライセンス供与しています。



### メタシャイン®製品

化粧品分野では、事業機会を広げるためにイノベーションは不可欠です。単に顧客企業の仕様に合わせた製品を提供するだけでは不十分で、顧客企業と密接な関係を保ち将来の動向をも予測できるようにしなければなりません。最近販売を開始した化粧品向けのメタシャイン-ビビッドグレードは、従来品より一段と明るく鮮やかな色合いを実現し、消費者の心をつかむ理想的な化粧品の開発を可能にしましょう。

## 複層真空ガラス

NSGの「スペーシア®」技術は、一枚ガラスと同じ厚さと重さで、複層ガラスと同程度のエネルギー効率を実現する「真空ガラス」を世界に先駆けて商品化するのに成功しました。さらに「スペーシア21®」は、この真空ガラスとLow-E（低放射）ガラスで構成した複層真空ガラスで、わずか18.2mmの厚さで熱貫流率0.7W/m<sup>2</sup>Kと、グラスウール50mm厚に匹敵する断熱性を実現し、同じ厚さのLow-E複層ガラスと比べて約2.3倍の極めて高い断熱性を有しています。さらにこれに遮熱コーティングを施せば、窓からの日射熱取得率を54%削減することができます。

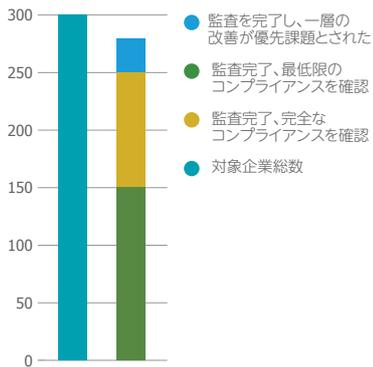
スペーシア21®は、地球温暖化対策手段として、環境庁からエネルギー消費とCO<sub>2</sub>排出を削減する最先端技術であることを示す「L2-Tech 2015年夏」に認定されました。



建築用ガラス「スペーシア21®」の認定証

# サプライヤー

## 2015年末までの目標達成度



2015年末までに280社以上の監査が完了しました。「サプライヤー行動規範」へ遵守状況を調査しましたが、半数以上のサプライヤーが全項目適合、3分の1のサプライヤーが重点項目の適合が確認されました。残りのサプライヤーに関しては、是正を求めました。

私たちは、世界中の20,000社を超えるサプライヤーから原料や資材、サービスを調達しています。サプライヤーの皆様にご理解いただき、当社グループの基準を遵守していただくために、「NSGグループサプライヤー行動規範」を制定し、サプライヤー監査を実施しています。

### 「サプライヤー行動規範」の概要

「持続可能な購買プログラム」の一環として、「サプライヤー行動規範」を制定しています。当社グループがサプライヤーに期待する基準として、遵守すべき行動、プロセス、手順を定めています。然るべきアカウントマネージャーがサプライヤーに対する窓口となる場合もありますが、その場合も購買部門は適切な契約が締結され、関係者に周知されるようにする責任を負います。

当社グループでは、製造の過程で使用する原料、部材、サービスを約20,000社の現地サプライヤーまたはグローバルサプライヤーから調達しています。そのため、当社グループのサステナビリティに向けた目標の達成には、サプライヤーが極めて重要な意味を持ちます。当社グループは、優れた品質のガラス製品を製造して顧客に提供するため、信頼と協力とサステナビリティの考え方に基づくサプライヤーとの強固な関係構築を目指しています。

「サプライヤー行動規範」には幅広い項目が含まれていますが、これはサプライヤーが従事する事業活動が多様であるためです。本行動規範は、現時点で可能な限り公平で良識ある事業活動への取り組み方を示すものであり、関連する法律の要求事項も織り込んでいます。本行動規範の内容は、当社グループの「経営理念と行動指針」にも準拠しています。中でも重視するのが、安全、行動への当事者意識、オープンで積極的なコミュニケーションです。当社グループの求める要件を満たすために本行動規範に定める原則を遵守することが、全てのサプライヤーの責

務として求められています。

私たちのサプライヤーによる行動規範遵守へのこだわりは、私たちがカテゴリー戦略の一環としてどのサプライヤーとより長期的関係を築くかを決定するのに影響を与えてきました。またサプライヤーを選ぶ際、コンプライアンスの確保を常に優先的に考えてきました。

### サプライヤー監査

2011年から2015年までに、主要サプライヤー約300社を対象に監査を実施する目標を立てました。この目標を達成しその中から環境負荷の特に高いサプライヤーに対して追加的なデューデリジエンスを実施するために、外部サービスプロバイダーを活用しています。

### プロセスと方法

サプライヤー監査に用いられる方法はCSR分析体系の中核をなすもので、4つのテーマ（環境、公正な労働行為、倫理的／公正な事業行為、およびサプライチェーン）にまたがる21項目を網羅しています。GRI（グローバルレポーティングイニシアチブ）、国連グローバルコンパクト、ISO26000等のCSR国際基準に基づき、150の支出カテゴリと140カ国を対象としています。

## サプライヤーの環境リスクランキング

この数年私たちは、環境に対して大きな影響を与えるリスクを抱えているサプライヤー（HEIと分類）を明らかにするプログラムを実施しています。その目的は、サプライヤーが環境に与えるマイナスの影響を最小限に抑え、プラスの影響を与える活動に積極的に取り組んでもらうようにするためです。対象としたのは、木材梱包材、バッチ原材料、廃棄物処理事業、化学物質等の「環境に大きなインパクトを与える」と分類された13の材料カテゴリーです。これらのカテゴリーに分類される全てのサプライヤーは、ISO14001またはこれに相当するその他の環境認証を取得することが期待されます。木材、紙、および段ボール梱包材に関しては、その原材料の供給先についての森林管理協議会（FSC: Forest Stewardship Council）またはPEFC評議会（Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes）によるChain-of-Custody (CoC) 認証の取得を求めます。

コンプライアンスの水準は向上し続けており、現在これらのカテゴリーで平均70%以上のサプライヤーが当社グループの要件を完全に満たしています。まだ要件を満たしていないサプライヤーに対しては、今後も監査と改善の動きかけを継続します。この取り組みに賛同しないサプライヤーとの取引はいずれ中止される可能性もあります。

## 紛争鉱物への対応

当社グループは、紛争鉱物に関する米国金融規制改革法（ドッド・フランク法）の趣旨・目的に賛同します。同法は、コンゴ民主共和

国および近隣諸国の武装団体の直接・間接的な資金源となる紛争鉱物（スズ、タングステン、金、および tantalum など）の使用を防止することを目的としています。紛争鉱物を含む可能性のある原材料のサプライヤーを特定することは、当社グループのサプライヤー監査の非常に重要な要素であり、オンラインの質問票への回答を求めることでデューデリジエンスを実施しています。

## 贈収賄・汚職防止

私たちは企業の非倫理的オーナーや取締役を追跡し特定することで、供給の性質上贈収賄または汚職リスクの温床となる可能性のある多数の購買材料カテゴリー明らかにしてきました。外部のデューデリジエンス・プラットフォームを用いてこれらのサプライヤーをモニタリングし、サプライヤーまたは関連の取締役による非倫理的行動の兆候があれば調査をします。これに加えて、私たちのサプライヤー導入プロセスには、材料カテゴリーに関わりなく贈収賄または汚職リスクの高いサプライヤーを特別に表示するリスク指標が含まれています。これにより、私たちはデューデリジエンス・プラットフォームを用いて彼らの倫理的健全性を評価することができます。

## サプライヤーと連携した省エネプロジェクト

購買に関する活動やプロジェクトは、NSGグループのサステナビリティに対する取り組みを実証する機会となります。ベストプラク

ティスはグループ購買部の各カテゴリーチームを通して共有され、NSGグループ全体に発信されます。

グループ購買部のグローバルな組織体制を活用し、ベストプラクティスを効果的、効率的に展開しています。主要サプライヤーと協力し、個別のエネルギー管理問題に対する解決策を見出すため彼らの多様な専門技術を生かして、製造拠点のエネルギーおよび水の消費量を削減するプロジェクトを考え、立ち上げています。例えば、イタリアの主要事業所では、高度な水処理工程を追加することで水の使用量と排水量の両方を大幅に減らしました。

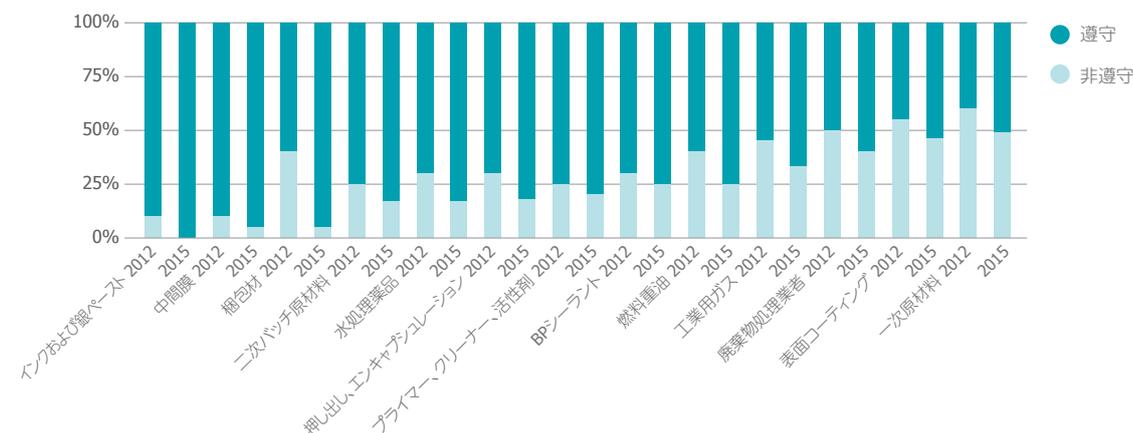
日本では、NSGの技術専門家と燃料サプライヤーが広範囲にわたって協力した結果、溶解炉1基について環境負荷の低い燃料への切り替えに成功しました。

ポーランドの事業所では、より高度な冷却制御システムの導入によって徐冷機能を強化し電力消費量を削減しました。

## コミュニケーションと協力

NSGグループは「サステナビリティポリシー」に従って、サプライヤー、政府、規制当局、科学界、その他のステークホルダーと必要に応じて連携をとり、建設的に協力し合い、持続可能な発展という共通目標に向かって進展をもたらすような企業や地域社会によるさまざまな取り組みを推進していきます。

## 環境負荷が大きい原材料と、サプライヤーの行動規範遵守状況 2012-2015



# 地域社会

NSGグループが事業を展開する地域社会は、事業活動の基盤であるとともに従業員の生活基盤でもあります。地域社会との共存共栄なくして、事業活動の継続はありません。

NSGグループは全世界で約27,000人の従業員を雇用し、欧州、日本、北米、南米、中国、南アジア、東南アジアにまたがる28カ国で主要事業を展開しています。世界中で大小合わせて500以上の各拠点が自らの地域社会に雇用、投資などの便益をもたらす一方で、環境に影響を及ぼしています。

当社グループが必要な投資を行う場合、通常はその地域社会に雇用や経済効果などのプラスの影響をもたらします。そこで、当社グループの事業が地域社会や環境さらには地域経済に及ぼす影響を理解し適切に対処するために、投資案件ごとに影響評価を実施しています。

私たちは、事業を展開する地域社会の責任ある重要な一員として、地域社会の発展に積極的な貢献を果たすことが非常に重要であると考えています。グループの主力事業や経営資源の活用を通じて地域社会の取り組みを支援していきます。

## 目的

私たちは、健全に成長を続ける地域社会で事業を展開し、こうした社会から良き隣人として認められることを願っています。

私たちが効果的な事業を行い、タイムリーに事業を拡大し、また変化させるためには、まず、地域社会を積極的にサポートし地域の人々の信頼を得ることが不可欠です。

NSGグループは、地域で事業活動を継続するための事業投資に加えて、地域社会への投資も行っています。慈善活動などへの寄付金や物資の提供を通じて、地域社会の健全性の向上や、社会問題の解決に取り組んでいます。また、事業参入や操業、撤退などを含め私たちの事業活動が地域社会に与える影響を評価・管理するプログラムを運用しています。

NSGグループの従業員は、地域社会との良好な関係作りにおいて積極的な貢献を果たすことが奨励されています。例えば、募金活動や地域のプロジェクトにおけるボランティア活動などに参加しています。

NSGグループが2015年度に、芸術、医療、福祉、雇用創出、都市再開発などの分野で行った社会貢献支出は、約7,000万円でした。



ブリストル事業所の従業員による「安全ポスターをデザインしよう」キャンペーン



「NSGグループ安全の日」の家族向けイベントで、子供に基本的な防火・消火活動を教えるサンサルボ事業所の従業員。

地域活動への積極的な取り組み



ブラジルの国連多様性推進キャンペーン



ブラジル中のNSGグループ事業所で従業員が、製造拠点のある地域社会におけるジェンダー平等の考え方を広める運動に取り組みました。当社グループではこのテーマについて、販促メールや掲示板を通じて理解を深めるメッセージを送るほか、社長や取締役による従業員を交えた講演会を2回実施しました。

アルゼンチンで非常シェルターを組み立てる従業員



VASAでは、従業員が退職者や家族と一緒に非常シェルターのドアや窓を組み立てました。これは、支援が必要な地域社会で住居や食料、教育等に関する社会プロジェクトを展開する組織「TECHO」との共同事業でした。

「持続可能な学校」賞



NSGグループは、セントヘレンズ・レポーター紙の2014年「持続可能な学校」賞を後援しました。これは学校生活のあらゆる面と全教科で環境意識を高め持続可能な開発に関する教育プログラムを実施した学校に与えられる賞です。

# 株主・投資家

NSGグループは、重点的かつ国際的な投資家向け広報(IR)活動を通じて、株主・投資家の皆様への情報提供に努めています。事業年度を通じて、決算説明会、各種発行物、NSGグループのウェブサイトなどにより定期的な情報発信を行っています。

NSGグループは、株主・投資家の皆様、金融機関、行政当局、報道機関に対して、透明性、適時性、正確性のある情報を提供するように努めています。

株主・投資家の皆様に当社グループの戦略や業績を理解した上で投資判断を行っていただくため、できるかぎり多くの情報を提供することを目標に掲げています。

通期および四半期毎の財務諸表を和文と英文で作成し、開示しています。これらの財務諸表はウェブサイトにも掲載しています。

NSGグループの最高経営責任者(CEO)は、IR活動や主要株主とのコミュニケーションの内容に関して取締役会に定期的な報告を行います。取締役会は、当社グループに関して発行された全ての企業リサーチ情報を受領します。株主総会では質疑応答の時間を設け、株主からの質問に議長や取締役会のメンバーが対応します。

NSGグループの「IR基本方針」には、「オープンでフェアであること」、「企業倫理を遵守すること」という目標が反映されています。NSGグループは東京証券取引所(東証)に株式を上場しており、東証の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則」(以下「適時開示規則」)に基づいて情報開示を行っています。

また、適時開示規則に該当しない種類の情報についてもその情報を開示することが投資家の利益になると判断された場合、NSGグループの方針に基づいて、迅速かつ公平に情報が伝達されるよう配慮しています。

## 経営計画情報の提供

2014年5月に、当社グループの長期戦略ビジョンと中期経営計画(MTP)を発表しました。和文と英文の資料をウェブサイト上で公開しています。

## 長期戦略ビジョン

当社グループは、高付加価値ガラス企業「VAガラスカンパニー」への変容・変革を長期戦略ビジョンとして設定いたしました。「VA」とは「value-added(高付加価値)」に由来します。私たちは次の目標を掲げています。

- ガラススペシャリストとして高い信頼を獲得
- 製品とサービスを通じて、世界中の様々な顧客と密接に協働し、独自の付加価値を提供
- 事業構造を変革し、伝統的なビジネスモデルから、高付加価値(VA)製品重視のビジネスモデルに転換

このような優先課題の転換を通じて真の「VAガラスカンパニー」となるために、当社グループはより収益性が高く健全な財務基盤を有する企業、よりスリムな総資産、より景気循環に左右されにくい構造を目指します。

## 中期経営計画

2018年度までの期間は、新長期ビジョンに描かれた「VAガラスカンパニー」としての当社グループの確立に非常に重要な意味を持ち、安定的な財務基盤の確立を最優先させながら、引き続き収益向上に注力し、より高付加価値な製品(VA品)の販売へと転換します。これらの目標へのアクションとして、VA品比率を向上させ、既存設備の生産性の最大化を追及し、ものづくりの評判を確立します。

建築用ガラス、自動車用ガラス、高機能ガラスの3つの事業分野をベースに、市場に即して地域ごとに組織化された事業を通じて、戦略を遂行しています。地域別組織とグローバル組織のバランスを上手く取りながら、効率性の向上を図り、市場の展開に迅速に対応していきます。同時に、市場志向型の文化を強化し、売上高を伸ばすという強い意識を醸成し、経営資産をフル稼働いたします。

間接費の削減、製造効率の改善、ならびにクラス最高の調達およびシェアードサービスを通じた原燃料の管理により、当社グループ事業の損益分岐点を下げることを目指しています。限られた資源を賢く使い、現在よりもはるかに低い資本コストで生産能力を作り出すことを目指します。

経営理念の根幹を成す「事業は人なり」のもと、人材を有効に活用することが現在当社グループの直面している課題を乗り越える推進力になると考えています。当社グループの基本理念である「経営理念と行動指針」を常々実践し、安全と品質を引き続き最優先事項といたします。また、周囲の地域社会へ貢献し、環境に適切に対応することにより、サステナブル（持続可能）な会社になることを私たちは目指します。

### 業績の報告

NSGグループは、四半期ごとに決算発表を実施し、期末には、国内の証券アナリストや機関投資家向けに決算説明会を開催し、第1から第3四半期にも説明を実施しています。決算説明会ではCEO、COO、CFOが直接、業績や事業戦略に対する進捗状況、今後の見通しについて報告と説明を行います。加えてCFOと広報IR部は、決算発表後に国内外のアナリストや機関投資家とミーティングを重ねています。また、アナリストの方々を対象に工場・施設見学会も適宜開催しています。

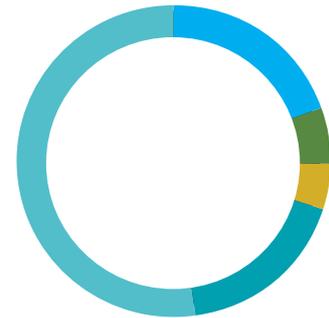
NSGグループはこの1年、財務実績のほかサステナビリティ関連の実績報告にも重点的に取り組んできました。サステナビリティレポート最新号はサステナビリティの実現を目指すNSGグループの取り組みと実績を伝える重要な媒体で、和文と英文の両方で発行されます。また、これ以外の実績データについては、当社ウェブサイトの「サステナビリティ」のセクションでご紹介しています。

### 株主構成の変化

過去6年間で株主構成に著しい変化が見られました。NSGグループは、2006年に英国ピルキントン社を子会社化したことにより、日本のガラスメーカーから東京に本社を置くグローバル企業グループへと移行しました。日本非居住の外国法人等（外国個人を含む）の株主の持株比率が著しく上昇しましたが、現在は減少し、それに対して日本居住の個人株主の比率が上昇しています。日本に本社を置くグローバル企業であるNSGグループは、世界中の株主・投資家のニーズに応えるためグローバルなIR活動を展開しています。IR関連の発行物の大半は、和文と英文で発行しております。本レポートの40ページおよび当社ウェブサイトをご覧ください。海外のアナリスト、株主・投資家との対話の機会を設けるため、必要に応じてIRツアーを実施しています。

### NSGグループの株主構成 (所有者別の持株比率)

(2015年9月30日現在)



● 金融機関	19.6%
● 証券会社	5.7%
● その他法人	4.7%
● 外国法人等（外国個人を含む）	17.8%
● 個人その他	52.2%
● 自己名義株式	0.0%



記者会見での森重樹氏



アナリストミーティングに出席するNSGグループ執行役

# その他の情報

NSGグループは、当社グループやその属する業界、組織体制、戦略、経営目標およびその進捗状況に関して、できるだけ多くの情報を株主・投資家の皆様に提供するため、以下の冊子を定期的に発行しています。

## 発行物

以下の出版物を発行しています。

### NSGグループアニュアルレポート

当社グループの業績を十分にご理解いただくため、本書をご覧ください。(英文のみ)

### 事業報告書

年2回、6月と12月に発行(和文、英文)。NSGグループの戦略およびその進捗状況を株主の皆様へ提供。

### NSGグループ倫理規範

NSGグループの従業員向けに発行する、「NSGグループ倫理規範」の要約リーフレット。事業を行う全ての地域の言語で制作。

## 会社情報

(2015年3月末現在)

社名：日本板硝子株式会社

統一グローバル・ブランド：NSGグループ

本社：〒108-6321 東京都港区三田三丁目5番27号

設立年月日：1918年11月22日

資本金：116,449百万円

総資産：920,106百万円

売上高(連結)：626,713百万円

従業員数：27,371人(連結)

グループ企業数：233社

Web：http://www.nsg.co.jp

## ウェブサイト

NSGグループのウェブサイト(英文)  
[www.nsg.com](http://www.nsg.com)

NSGグループのウェブサイト(和文)  
[www.nsg.co.jp](http://www.nsg.co.jp)

商品情報に関する問い合わせ  
<http://www.nsg.co.jp/ja-jp/contact-us>

NSGグループのサステナビリティ情報  
<http://www.nsg.co.jp/ja-jp/sustainability>

GRI指標については<http://www.nsg.co.jp/ja-jp/sustainability/griindex>をご覧ください。

# 報告アプローチ

本レポートは、NSGグループの活動のうち非財務パフォーマンスを伝えるコミュニケーションの一環として作成され、グループ全体をはじめ、地域レベル、拠点レベルでの報告を反映しています。特に明記しない場合、本レポートでは当社グループが経営支配権を有する事業活動を対象とした記述となります。当社グループの環境パフォーマンスについては、フロートライン28基および型板ガラスの製造拠点5カ所に関して詳細なデータを記載しています。当社グループが経営支配権を有しない合併事業の拠点は除外しています。建築用ガラス事業、自動車用ガラス事業および高機能ガラス事業それぞれの川下加工事業は全て本レポートに含まれます。本レポートに記載の安全実績の統計は当社グループの従業員（正社員および常勤の協力会社社員）の数字です。

当社グループの環境パフォーマンス、社会的パフォーマンスは、ステークホルダーの皆様に関心事項であるとともに事業の成功をもたらす重要な要素です。そのため、NSGグループは2002年より継続的に、環境・社会活動報告書やCSRレポートによってこれらの事項を報告してきました。2009年に、NSGグループの「サステナビリティレポート」の第1号を発行し、サステナビリティの全ての側面を網羅するよう報告範囲を広げました。NSGグループは、2009年6月に「NSGグループサ

ステナビリティポリシー」を公表し、自らのサステナビリティ目標を定めました。また、2009年12月には、サステナビリティの推進のための取り組みを管理、調整、モニタリングする「NSGグループサステナビリティ委員会」を設立しました。2010年、NSGグループの取締役会は、具体的なサステナビリティ目標について合意しました。サステナビリティ目標および目標に対する進捗状況を本レポートの5ページに掲載しています。2012年にNSGグループは、環境安全衛生部統括部長に小林史朗を任命しました。サステナビリティの原則がグループの全ての事業活動に織り込まれるよう取り組みを推進するサステナビリティ委員会の委員長はクレメンス・ミラーが務めています。2017年初頭に発行予定の「サステナビリティレポート2016」で、その後の進捗についてご報告したいと考えています。

本レポートは、組織の経済、社会、環境面におけるパフォーマンスや対応に関しての、国際的に認められた報告枠組である、「グローバル・レポーティング・イニシアティブ（GRI）サステナビリティ・レポーティング・ガイドライン」に準拠し、作成されています。



GRIとUNGCの各指標については<http://www.nsg.co.jp/ja-jp/sustainability/griindex>をご覧ください。

